

***DIRECTSTAR*** 

**NEC**

***Aterm***<sup>®</sup> *DR30F*

***Aterm***<sup>®</sup> *DR35FH*

**スタートガイド**

## はじめに

このたびは、本商品をお選びいただきまことにありがとうございます。

本商品をご使用していただくにあたり、下記の内容をご確認ください。

ADSLのサービス提供地域であっても、設備・回線等の都合により本商品をご利用になれない場合があります。

遠隔検針(ノーリング通信サービス)や警備保障、回線自動選択装置(ACR)等の電話回線を利用したサービスを利用されている場合、それらのサービスに支障をきたす場合があります。

ADSL区間の距離や設備状況、他回線からの影響、お客様宅内で接続されている通信設備(ACR等)等の影響により、最大通信速度が当初より得られない場合や、通信速度が変動する状態または通信が利用できない状態となる場合があります。

ADSLによるインターネット常時接続をご利用の場合、ネットワークを介して外部からの不正侵入及び情報搾取等の危険が増えます。必要に応じて、お客様のパソコン上にファイアウォールのソフトウェアをインストールする等の対応をお願いいたします。

本商品には、「AtermDR30F/CE、DR35FH/CE」と「AtermDR30F/GS、DR35FH/GS」の二つのタイプがあり、それぞれ、ご利用になれるADSLサービスが異なります。接続可能なADSLサービスとタイプが異なる場合は、本商品をご利用になれません。

- Aterm® は、日本電気株式会社の登録商標です。
- Windows® ,Windows NT® は、米国 Microsoft® Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Windows® Me は、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system の略です。
- Windows® 98 は、Microsoft® Windows® 98 operating system の略です。
- Windows® 95 は、Microsoft® Windows® 95 operating system の略です。
- Windows® XP は、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system および Microsoft® Windows® XP Professional operating system の略です。
- Windows® 2000 は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system の略です。
- Netscape、Netscape Navigator および Netscape Communicator は、米国 Netscape Communications Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Macintosh® は、米国 Apple Computer, Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。
- Acrobat® Reader は、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他の各会社名および各製品名は、各社の商標または登録商標です。

©NEC Corporation 2002 ©NEC Access Technica, Ltd. 2002

日本電気株式会社およびNECアクセステクニカ株式会社の許可なくソフトウェア、および取扱説明書の全部または一部を複製・改題、および複製物を配布することはできません。

## ご使用にあたってのお願い

### ●電波障害自主規制について

本商品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。本商品は家庭環境で使用することを目的としていますが、本商品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

### ●輸出する際の注意事項

本商品(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様であり外国の規格などには準拠していません。

本商品を日本国外で使用された場合、当社はいっさい責任を負いません。

また、当社は本商品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っていません。

### ●ご注意

(1)本書の内容の一部または全部を無断転載・無断複写することは禁止されています。

(2)本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。

(3)本書の内容については万全を期して作成いたしました。が、万一ご不審な点や誤り・記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。

(4)本商品の故障・誤動作・天災・不具合あるいは停電等の外部要因によって通信などの機会を逸したために生じた損害等の純粋経済損失につきましては、当社はいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。




(5)Aterm は、災害時においてライフラインと直結した通信手段の確保を意図した設計がされていますが、せつかくの機能も不適切な扱いや不測の事態(例えば落雷や漏電など)により故障してしまったりは能力を発揮できません。取扱説明書をよくお読みになり、記載されている注意事項を必ずお守りください。

# 安全にお使いいただくために必ずお読みください




この取扱説明書には、あなたや他の人々への危険や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

## 本書中のマーク説明

-  **警告** : 人が死亡する、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
-  **注意** : 人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
-  **お願い** : 本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。

## ■ 絵表示の例

-  記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。記号の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
-  記号は禁止の行為であることを告げるものです。記号の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
-  記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。記号の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

 **警告**

**設置場所**

● **風呂、シャワー室への設置禁止**

風呂場やシャワー室などでは使用しないでください。  
漏電して、火災・感電の原因となります。



● **水のかかる場所への設置禁止**

水のかかる場所で使用したり、水にぬらすなどして使用しないでください。  
漏電して、火災・感電の原因となります。



**こんなときは**

● **発煙した場合**

万一、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してから、販売店からお求めの場合は NEC 保守サービス受付拠点に、ADSL 接続事業者またはプロバイダから入手の場合は ADSL 接続事業者またはプロバイダに修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。



● **水が装置内部に入った場合**

万一、内部に水などが入った場合は、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店からお求めの場合は NEC 保守サービス受付拠点に、ADSL 接続事業者またはプロバイダから入手の場合は ADSL 接続事業者またはプロバイダにご連絡ください。  
そのまま使用すると漏電して、火災・感電の原因となります。



● **異物が装置内部に入った場合**

本商品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店からお求めの場合は NEC 保守サービス受付拠点に、ADSL 接続事業者またはプロバイダから入手の場合は ADSL 接続事業者またはプロバイダにご連絡ください。  
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。  
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



## 警告

### ●電源コードが傷んだ場合

電源コードが傷んだ(芯線の露出・断線など)状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店からお求めの場合は NEC 保守サービス受付拠点に、ADSL 接続事業者またはプロバイダから入手の場合は ADSL 接続事業者またはプロバイダに修理をご依頼ください。



### ●電源コードの取り扱い注意

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。

火災・感電の原因となります。

また、重い物をのせたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。



### ●破損した場合

万一、落としたり、破損した場合は、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店からお求めの場合は NEC 保守サービス受付拠点に、ADSL 接続事業者またはプロバイダから入手の場合は ADSL 接続事業者またはプロバイダにご連絡ください。

そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。



## 禁止事項

### ●たこ足配線の禁止

本商品の電源コードは、たこ足配線にしないでください。たこ足配線にするとテーブルタップなどが過熱・劣化し、火災の原因となります。



### ●商用電源以外の使用禁止

AC100V の家庭用電源以外では絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となります。

差込口が2つ以上ある壁の電源コンセントに他の電気製品の電源プラグを差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。火災・感電の原因となります。



●本商品は家庭用の OA 機器として設計されております。人命に直接関わる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム(幹線通信機器や電算機システムなど)では使用しないでください。



 **警告**

● **分解改造の禁止**

本商品を分解・改造しないでください。火災・感電の原因となります。



● **ぬらすことの禁止**

本商品に水が入ったりしないよう、また、ぬらさないようご注意ください。  
漏電して火災・感電の原因となります。



● **ぬれた手でのご操作禁止**

ぬれた手で本商品をお操作したり、接続したりしないでください。  
感電の原因となります。



**その他のご注意**

● **ペースメーカーを装着されている方の禁止**

埋め込み型心臓ペースメーカーを装着されている方は本商品をペースメーカー装着部から22cm以上離して使用してください。  
電波により影響を受ける恐れがあります。



● **異物を入れないための注意**

本商品の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな貴金属を置かないでください。  
こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



 **注意**

**設置場所**

● **火気のそばへの設置禁止**

本商品や電源コードを熱器具に近づけないでください。ケースや電源コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



● **温度の高い場所への設置禁止**

直射日光の当たるところや、温度の高いところ、発熱する装置のそばに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。



● **油飛びや湯気の当たる場所への設置禁止**

調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



● **不安定な場所への設置禁止**

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。また、本商品の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。



● **本商品を逆さまに置かないでください**



● **通風孔をふさぐことの禁止**

本商品の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使い方はしないでください。

- ・ 横向きに寝かせる
- ・ 収納棚や本棚などの風通しの悪い狭い場所に押し込む
- ・ じゅうたんや布団の上に置く
- ・ テーブルクロスなどを掛ける



● **横置き・重ね置きの禁止**

本商品を横置きや重ね置きしないでください。横置きや重ね置きすると内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



● **温度変化の激しい場所(クーラーや暖房機のそばなど)に置かないでください。本商品の内部に結露が発生し、火災・感電の原因となります。**







## 注意

### 禁止事項

#### ●乗ることの禁止

本商品に乗らないでください。特に小さなお子さまのいるご家族ではご注意ください。壊れてけがの原因となることがあります。



### 電源

#### ●アース線の取付

万一、漏電した場合の感電事故防止のため、必ずアース線を取り付けてください。アース線を使用して、本商品(FG 端子)をグランド(壁や電源コンセントのアース端子等)につないでください。本商品には、アース線は添付していませんのであらかじめご用意ください。



#### ●プラグの取り扱い注意

電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。抜くときは、必ずプラグをもって抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



#### ●電源プラグの清掃

電源プラグとコンセントの間のほこりは、定期的(半年に1回程度)に取り除いてください。火災の原因となることがあります。



#### ●長期不在時の注意

長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



### その他のご注意

#### ●移動させるときの注意

移動させる場合は、本体の電源スイッチを切った後、電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続線ははずしたことを確認の上、行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



#### ●雷のときの注意

雷が鳴りだしたら、電源コードに触れたり周辺機器の接続をしたりしないでください。落雷による感電の原因となります。



#### ●取扱説明書に従って接続してください。

間違えると接続機器や回線設備が故障することがあります。





## お願い

### 設置場所

- 本商品を安全に正しくお使いいただくために、次のような所への設置は避けてください。
  - ・ほこりや振動が多い場所
  - ・気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
  - ・ラジオやテレビなどのすぐそばや、強い磁界を発生する装置が近くにある場所
  - ・高周波雑音を発生する高周波マシン、電気溶接機などが近くにある場所

### 禁止事項

- 動作中に接続コード類が外れたり、接続が不安定になると誤動作の原因となります。動作中は、コネクタの接続部には絶対に触れないでください。

### 日頃のお手入れ

- 汚れたら、乾いた柔らかい布でふきとってください。汚れのひどいときは、中性洗剤を含ませた布でふいたあと、乾いた布でふきとってください。化学ぞうきんの使用は避けてください。ベンジン、シンナーなどの有機溶剤、アルコールは絶対に使用しないでください。変形や変色の原因となることがあります。

### ADSLに関する注意事項

- 通信速度は、パソコンの環境や接続プロバイダ、サーバ、接続時間帯により実際の実効速度とは異なります。
- ADSL を設置しているNTT局舎から設置場所までが離れている場合、あるいは十分な配線設備がない場合は、十分な通信速度が出ないか、または使用できないことがあります。
- 設置場所の近くに幹線道路、線路、送電線、送信所など電波を発するものがある場合は、十分な通信速度が出ないか、または ADSL 回線による接続が途切れたりすることがあります。
- 電話回線で着信があった場合は、ADSL 回線による接続が途切れることがあります。
- 近くにガス検知器などがあると、十分な通信速度が出ないことがあります。
- 次のような場合は、速度が遅くなる場合があります。
  - ・ISDN 回線などのノイズ源がある場合
  - ・配線のルート変更で距離が伸びた場合
  - ・電話回線の音声信号にデータを重畳させている場合
  - ・スプリッタで分離していても配線状況が悪い場合

# 目次

はじめに.....	2
安全にお使いいただくために必ずお読みください.....	4
目次.....	11
マニュアルの読み進めかた.....	13
<b>1. お使いになる前に.....</b>	<b>15</b>
1-1. AtermDR30F、DR35FHとは.....	15
1-2. セットを確認してください.....	17
1-3. 各部の名称・機能.....	18
1-4. あらかじめ確認してください.....	20
1-5. 設置上のご注意.....	21
スタンドをつける.....	21
設置する.....	22
<b>2. パソコンのネットワークを設定する.....</b>	<b>23</b>
2-1. Windows® Me/98/95 の設定.....	23
2-2. Windows® 2000 の設定.....	25
2-3. Windows® XP の設定.....	26
2-4. Mac OS 8.6/9.1/9.2 の設定.....	27
2-5. Mac OS X の設定.....	28
<b>3. 接続する.....</b>	<b>29</b>
3-1. パソコンの接続.....	30
本商品とパソコンを接続する.....	30
3-2. パソコンの接続確認.....	31
本商品とパソコンの接続を確認する.....	31
3-2-1. IP アドレスの確認—Windows® Me/98/95 の場合.....	31
3-2-2. IP アドレスの確認—Windows® 2000 の場合.....	32
3-2-3. IP アドレスの確認—Windows® XP の場合.....	32
3-2-4. IP アドレスの確認—Mac OS 8.6/9.1/9.2 の場合.....	33
3-2-5. IP アドレスの確認—Mac OS X の場合.....	33
3-3. 電話機をつなぎADSL回線に接続する.....	34
3-4. 直接ADSL回線に接続する.....	35
<b>4. 設定する.....</b>	<b>36</b>
4-1. Webブラウザでログインする.....	37
4-2. 「かんたん設定」による設定.....	38
4-3. インターネットに接続する.....	42

<b>5. 高度な利用</b> .....	<b>43</b>
5-1. Webブラウザで設定する.....	44
Webブラウザの操作方法について.....	44
5-2. 設定をセーブ・リブートする.....	47
セーブについて.....	47
リブートについて.....	48
5-3. 日付時刻を設定する.....	49
日付時刻について.....	49
5-4. UPnP機能.....	50
5-5. ポートマッピング機能を使う.....	51
ポートマッピング機能.....	51
ポート無変換機能.....	51
ポートマッピングのネットワーク接続／設定例.....	52
ポートマッピングの設定手順.....	52
ポートマッピング設定の削除手順.....	53
5-6. パケットフィルタの初期設定について.....	54
5-7. HUBを外付けして使う.....	55
5-8. ブリッジモードで使用する.....	56
ブリッジモードへの切り替え.....	57
ブリッジモードの確認.....	58
インターネットに接続する.....	58
<b>6. 付録</b> .....	<b>59</b>
6-1. Atermを初期化する.....	59
本商品にアクセスできないとき.....	59
設定初期化について.....	59
6-2. OAM試験をする.....	60
OAM試験について.....	60
6-3. 故障かな?と思ったら.....	61
6-4. お問い合わせ.....	68
6-5. 製品仕様.....	69
用語解説.....	71
索引.....	72
確認シート.....	73

# マニュアルの読み進めかた

本商品のマニュアルは下記のように構成されています。ご利用の目的にあわせてお読みください。

## ◇スタートガイド(本書)

本商品の接続のしかた、インターネット接続の設定方法、お問い合わせ先などを記載しています。  
ご使用前に必ずお読みください。

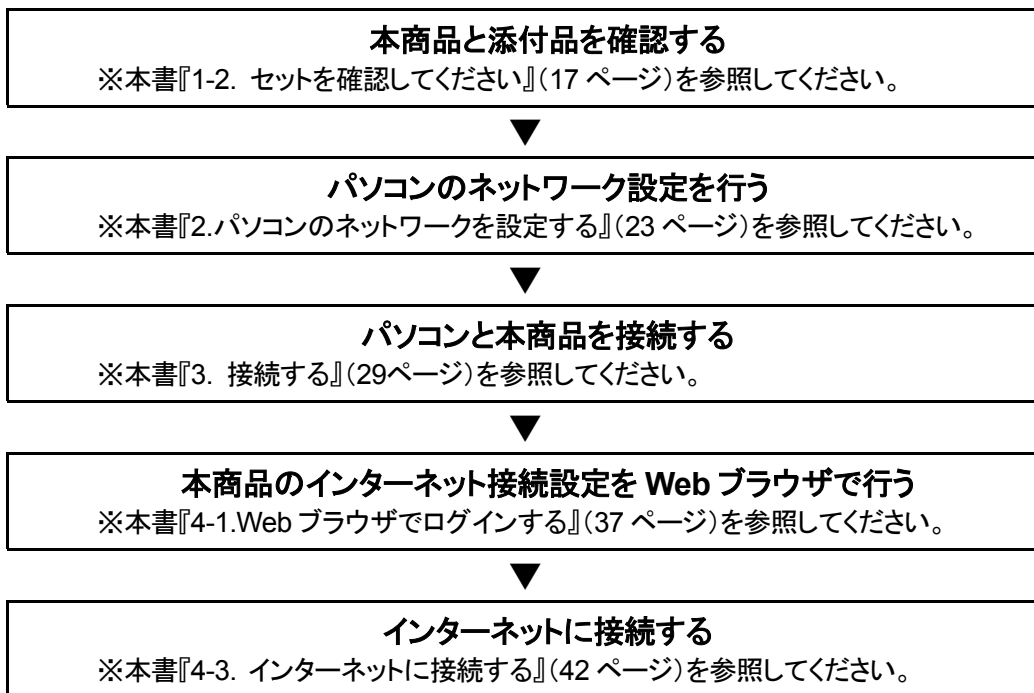
## ◇詳細ガイド(CD-ROM:PDF ファイル)

本商品の機能や設定方法をより詳しく記載しています。  
より高度な機能をご使用になる場合にお読みください。

## ◇用語解説(CD-ROM:HTML ファイル)

本書で使われている用語や本商品を活用するために知っておきたい用語の解説を五十音で検索することができます。

本商品をご入手いただいて、インターネットに接続するまでの流れは、下記のようになります。



## CD-ROM に収録されたマニュアルの見方

### Windows® をお使いの場合

1. CD-ROM をパソコンにセットしてください。
2. Acrobat® Reader を起動してスタートガイドまたは詳細ガイドのファイルを開いてください。

### Macintosh® をお使いの場合

1. CD-ROM をパソコンにセットしてください。
2. Acrobat® Reader を起動してスタートガイドまたは詳細ガイドのファイルを開いてください。  
Mac® OS X をご使用の場合は、Mac® OS X に付属の Preview を使用してスタートガイド、  
詳細ガイドのファイルを開いてください。

### 【お願い】

Acrobat® Reader をインストールされていない方は、添付品 CD-ROM に収録されている Acrobat® Reader をインストールしてください。

# 1. お使いになる前に

「AtermDR30F、DR35FH」とは何かを説明します。

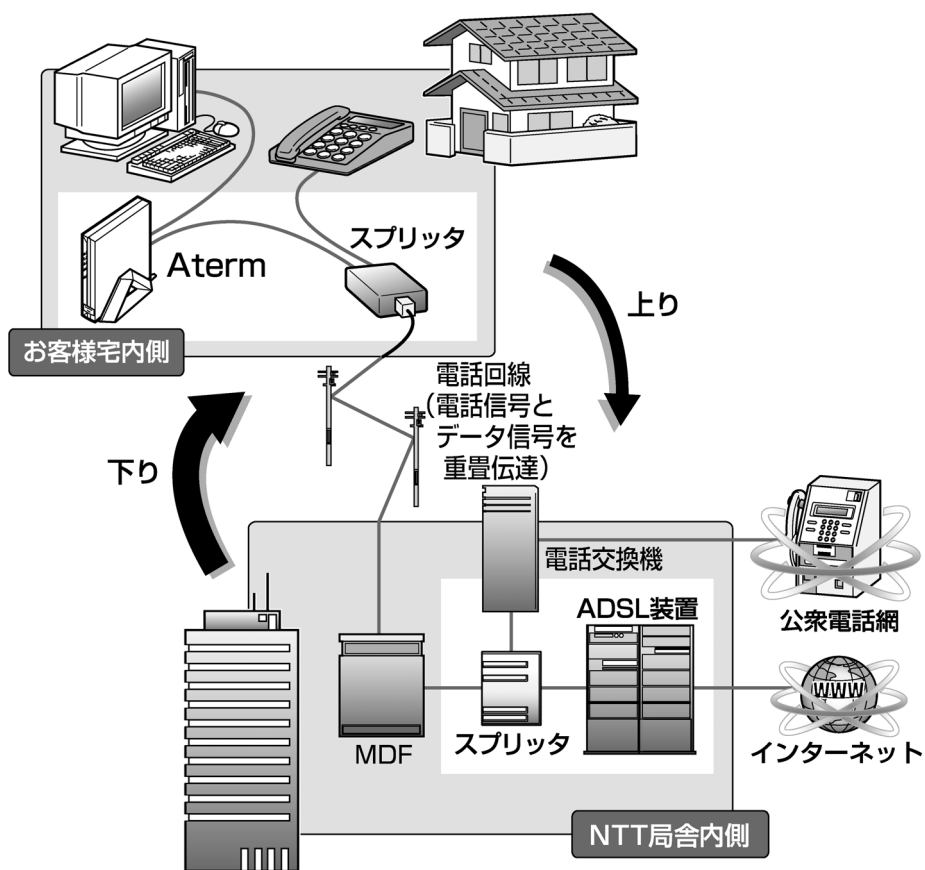
また、添付品や各部の名称、お使いになる前に確認していただきたいことを説明します。

## 1-1. AtermDR30F、DR35FHとは

AtermDR30F、DR35FH は、メタリック回線(電話回線)を使用することによって、高速なインターネット接続を可能とする ADSL モデム内蔵のブロードバンドルータです。

AtermDR35FH では、100BASE-TX/10BASE-T ポートを 4 ポート搭載し、スイッチング HUB を内蔵しているため、最大 4 台のパソコンで同時にインターネット接続することができます。

また、本商品に接続した複数のパソコン同士で通信することも可能です。



本商品は、初心者の方にも容易にインターネットをご使用いただける Web ブラウザによる「かんたん設定」を用意しています。

また、Web ブラウザによる設定では、高度な機能を柔軟に使えるように、下記のような便利なルータ機能が満載されています。

- ・スタティックルーティング(最大 40 経路設定可能)
- ・DHCP サーバ機能
- ・Proxy DNS 機能(DNS フォワーディング機能+DNS キャッシュ機能)
- ・IP パケットフィルタリング機能  
プロトコル種別、パケット方向、送信元/宛先ポート番号(範囲指定)、送信元/宛先 IP アドレス(範囲指定)、TCP フラグによる指定が可能
- ・IP マスカレード機能
- ・ポートマッピング機能(ポートマッピング機能+ポート無変換機能)
- ・マルチサブネット機能(最大 32 サブネット)

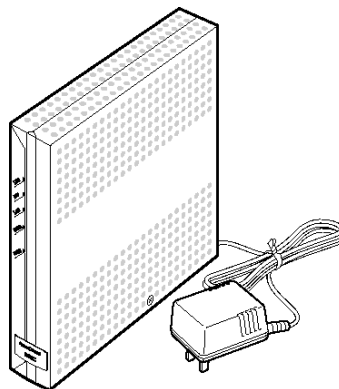


## 1-2. セットを確認してください

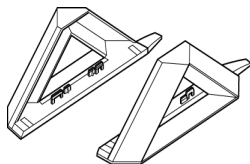
設置を始める前に、保証書以外の添付品[注1]がそろっていることを確認してください。不足しているものがある場合は販売店からお求めの場合は販売店に、ADSL接続事業者またはプロバイダから入手の場合はADSL接続事業者またはプロバイダにお問い合わせください。

### ■ AtermDR30F、DR35FH

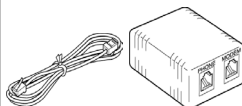
#### 本体



スタンド  
1組

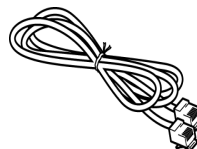


スプリッタ  
1個

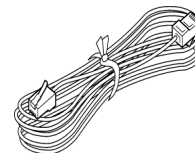


(スプリッタは形状が異なる場合があります)

ADSL 回線  
ケーブル 1本



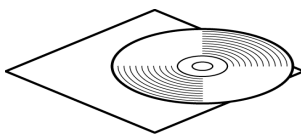
Ethernet  
ケーブル 1本  
(ストレート)



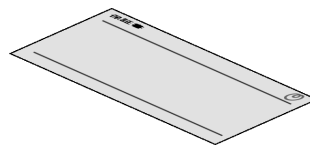
スタートガイド  
(本書)  
1冊



CD-ROM  
1枚



保証書  
1枚



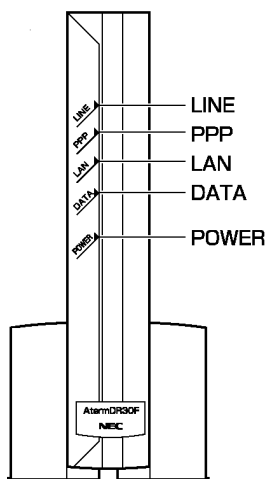
[注1] ADSL接続事業者またはプロバイダから入手された場合、保証書などが添付されていない場合があります。詳しくはADSL接続事業者またはプロバイダにご確認ください。

セットに足りないものがあったり、スタートガイドに乱丁・落丁があった場合などは、販売店からお求めの場合は販売店に、ADSL接続事業者またはプロバイダから入手の場合はADSL接続事業者またはプロバイダにお問い合わせください。

## 1-3. 各部の名称・機能

本商品各部の名称および機能を説明します。

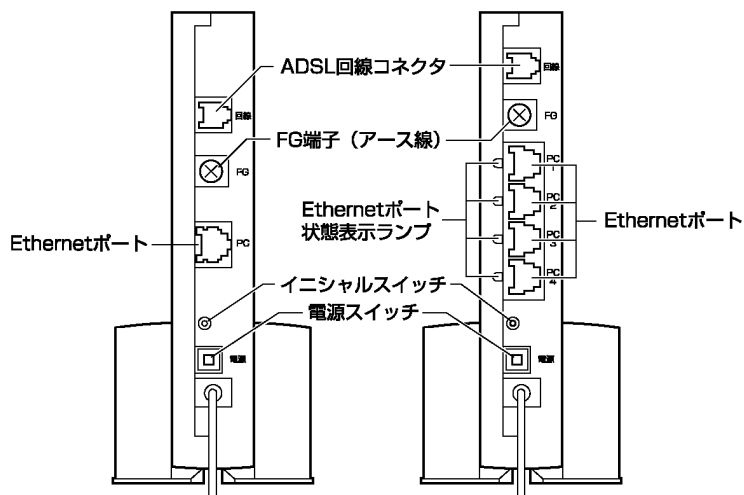
### ■前面



### ■背面

DR30F

DR35FH



### ■前面

名称	表示(色)	機能説明
ADSL回線表示ランプ	LINE (緑)	点灯 : ADSL回線のリンクが確立しています。 遅い点滅 : ADSL回線の信号検出待ちです(0.4秒間隔)。 速い点滅 : ADSL回線がトレーニング中です(0.2秒間隔)。
通信状態表示ランプ	PPP (緑)	点灯 : PPPのリンクが確立しています。 <sup>注1</sup> 遅い点滅 : PPPの認証が失敗しました(1秒間隔)。 速い点滅 : PPPのリンクネゴシエーション中です(0.2秒間隔)。 消灯 : PPPのリンクが確立していません。
	LAN (緑)	点灯 : Ethernetポートのリンクが確立しています。 <sup>注2</sup> 消灯 : Ethernetポートのリンクが確立していません。
	DATA (緑)	点滅 : Ethernetポートでデータの送受信をしています。 消灯 : Ethernetポートでデータの送受信していません。
電源ランプ	POWER(緑)	点灯 : 電源が投入されています。 消灯 : 電源が切れています。

[注 1] 起動時、セルフテスト実行中の間、10~20 秒程度点灯します。

[注 2] AtermDR35FH の場合は、4 つの Ethernet ポートのうち、1 ポートでもリンクが確立していれば点灯します。

■背面

名称	表示(色)	機能説明
ADSL回線コネクタ	回線	ADSL回線ケーブルを使用してADSL回線に接続するためのポートです。
FG端子	FG	アース線を接続するための端子です(ネジ径は4.0mm)。
Ethernetポート	PC	AtermDR30Fの場合 Ethernetケーブルを使用してパソコンと接続します。 (10BASE-T)
	PC1 PC2 PC3 PC4	AtermDR35FHの場合 Ethernetケーブルを使用してパソコンと接続します。 (100BASE-TX/10BASE-TスイッチングHUB)
Ethernetポート状態表示ランプ (AtermDR35の場合)	なし(緑)	各Ethernetポート(PC1~PC4)のリンクの状態を表示します。 点灯 : Ethernetポートのリンクが確立しています。 消灯 : Ethernetポートのリンクが確立していません。
イニシャルスイッチ	なし	工場出荷時の設定値で起動するためのスイッチです。
電源スイッチ	電源	電源ON/OFF用のプッシュスイッチです。

## 1-4. あらかじめ確認してください

### ■ ADSLサービス事業者との契約

ADSLサービスをご利用になるには、お客様が使用している電話回線が、NTT東日本/NTT西日本のADSL適合検査をクリアしている必要があります。NTTのADSL適合検査は、通常お申し込みになったADSL接続事業者よりNTT東日本/NTT西日本に対して依頼されます。すでにADSL接続事業者とご契約になっている場合は、契約されたサービスが本商品で利用可能かどうかをご確認ください。

本商品で利用できる8MbpsADSLサービスは本商品に添付の「かんたん設定対応事業者リスト」をご覧ください。

### ■ プロバイダとの契約

インターネットに接続するには、ADSL接続に対応したインターネット接続事業者(プロバイダ)との契約が必要です。申し込み方法などの詳細はプロバイダにお問い合わせください。

### ■ パソコンのEthernetポートについて

本商品と接続する端末機器(パソコンなど)には、Ethernetポート(100BASE-TX/10BASE-T)が必要です。お使いのパソコンなどにEthernetポートが無い場合は、100BASE-TX/10BASE-T対応のLANボードまたはLANカードをあらかじめご準備のうえ、パソコンに取り付けてください。取り付け後は、LANボード/カードの取扱説明書に従って正しく動作することを確認してください。

### ■ Webブラウザの環境について


本商品は、Webブラウザで設定を行います。Webブラウザによる設定では、以下の点に注意してください。

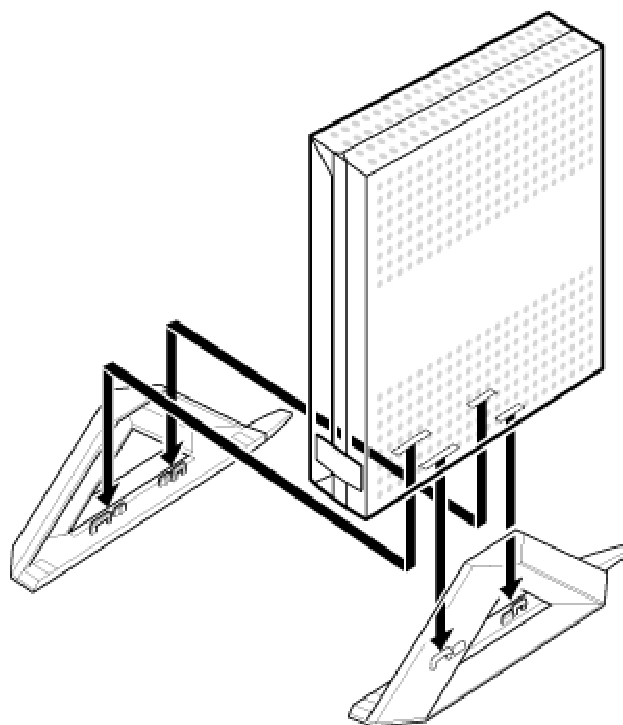
- Webブラウザは、下記のバージョンに対応しています。
  - ※ Windows® Me/98/95/2000/XPの場合
    - ・Microsoft® Internet Explorer Ver. 4.0 以上に対応(本商品のソフトウェアをバージョンアップする場合は、Microsoft® Internet Explorer Ver. 5.5以上をご利用ください。)
    - ・Netscape Navigator Ver.6.1 以上に対応
  - ※ Macintosh® 8.6/9.0.4/9.1/Xの場合
    - ・Microsoft® Internet Explorer Ver. 5.0 以上に対応(本商品のソフトウェアをバージョンアップする場合は、『詳細ガイド』(PDFファイル)の『S/W・設定ファイル管理について』を参照し、バージョンアップ時の注意事項をお読みください。)
    - ・Netscape Navigator Ver.6.1 以上に対応
- NetFront for (株式会社 ACCESS)にも対応
- 説明に使用している画面表示は、お使いのWebブラウザやお使いのOSバージョンによって異なります。
- お使いのWebブラウザやWebブラウザの設定により、説明されている操作を行った際に、Webブラウザが以前に保存していた内容を表示する場合があります。
- 回線の状況や設定によっては、設定内容がWebブラウザに表示されるまでに時間がかかる場合があります。

## 1-5. 設置上のご注意

### スタンドをつける

図のように、本商品本体に必ず添付品のスタンドをつけて縦置きでご使用ください。

 <b>注意</b>	本商品は横置きでのご使用はできません。
---	---------------------

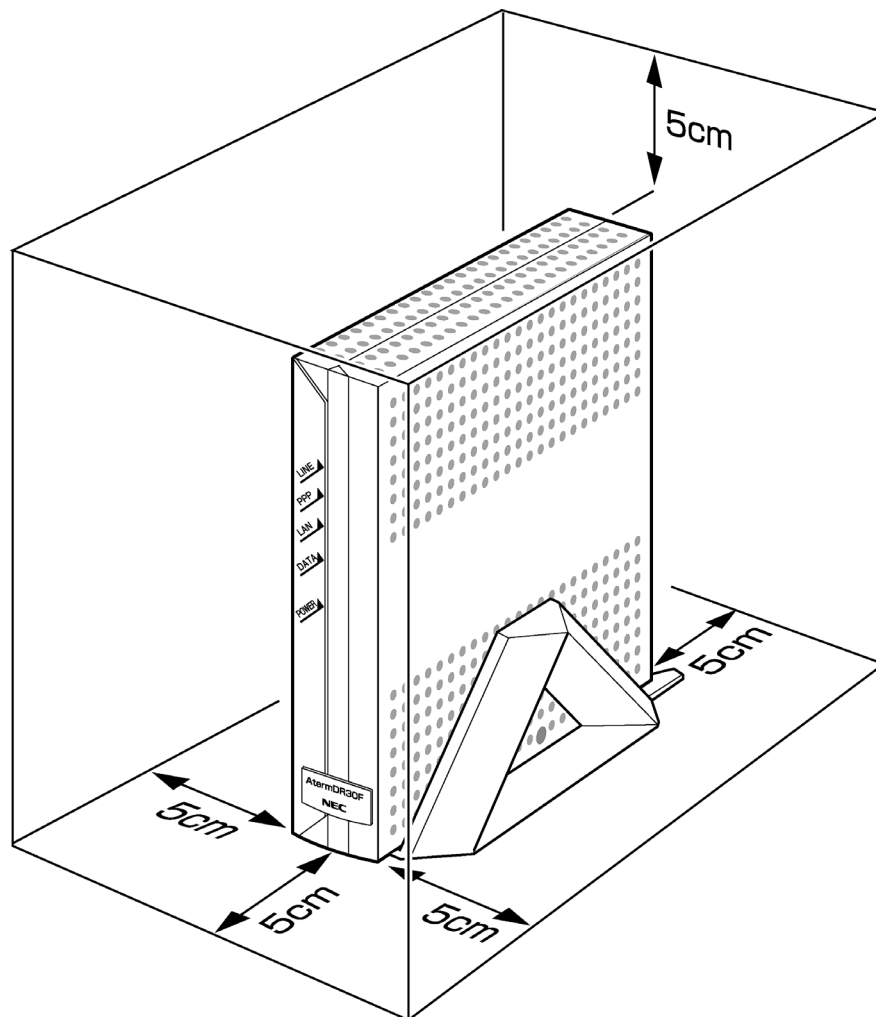


### 設置する

本商品は、前後左右 5cm、上 5cm 以内に、パソコンや壁などの物がない場所に設置してください。

### ⚠注意

換気が悪くなると本体内部の温度が上がり、故障の原因になります。



(イラストはAtermDR30Fの場合です。)

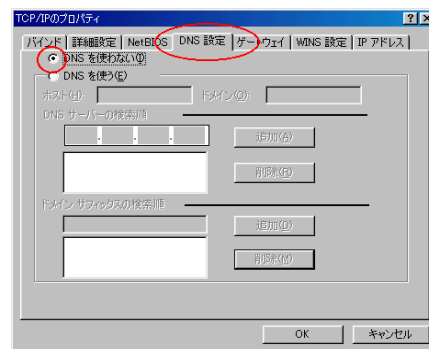
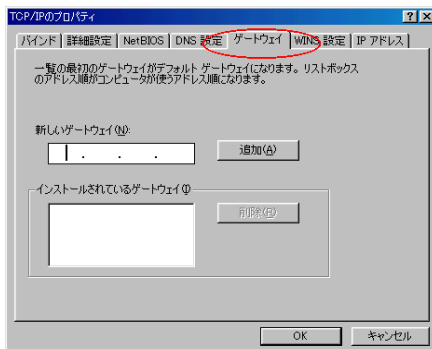
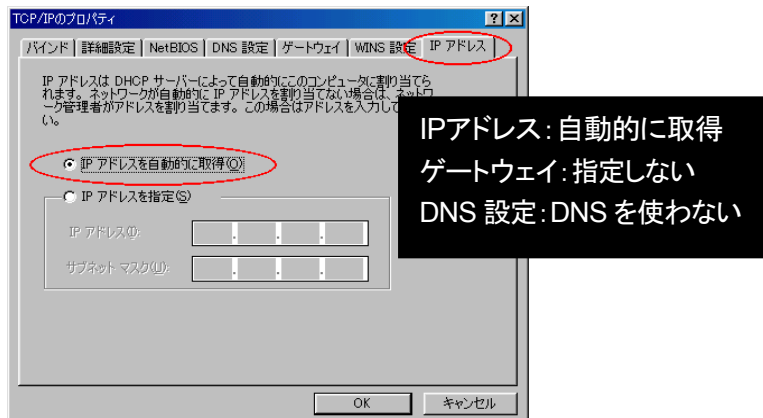
## 2. パソコンのネットワークを設定する

本商品に接続するパソコンに必要な設定について説明します。

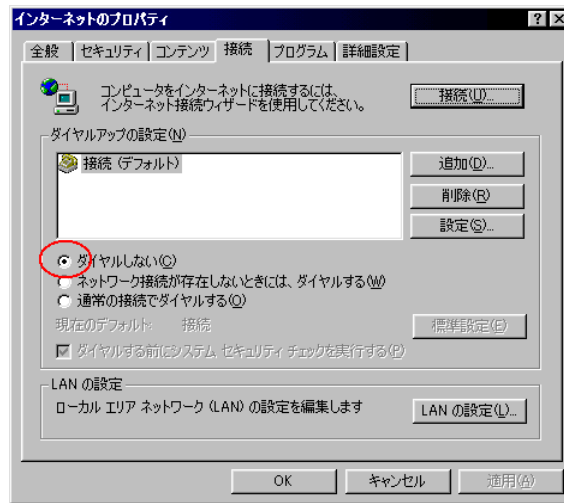
(以下の設定画面は、DHCP サーバ機能を使用する場合の設定例です。DHCP サーバは工場出荷時に「使用する」になっています。)

### 2-1. Windows® Me/98/95 の設定

- ① 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリックします。
- ② 「ネットワーク」アイコンをダブルクリックします。
- ③ 「現在のネットワークの構成」の中の「TCP/IP→お使いのLANカード(またはお使いのLANボード)」を選択します。
- ④ 「プロパティ」ボタンをクリックします。
- ⑤ 「IPアドレス」タブをクリックします。
- ⑥ 「IPアドレスを自動的に取得」にチェックを入れます。
- ⑦ 「ゲートウェイ」タブをクリックし、指定されていないことを確認します。
- ⑧ 「DNS設定」タブをクリックします。
- ⑨ 「DNSを使わない」にチェックを入れ、「OK」ボタンをクリックします。



- ⑩ 「コントロールパネル」の「インターネットオプション」をダブルクリックします。
- ⑪ 「接続」タブをクリックします。
- ⑫ ダイアルアップの設定がある場合は「ダイヤルしない」という項目にチェックを入れ、「OK」ボタンをクリックします。



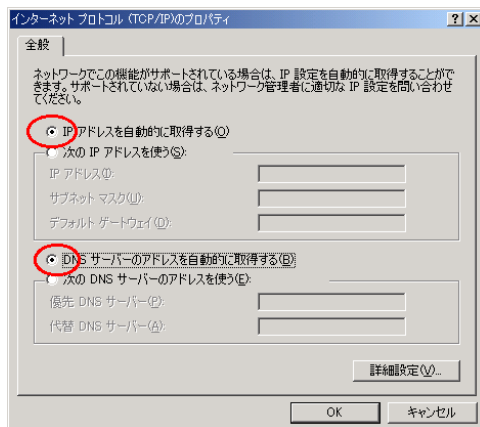
※ 「LANの設定」で、プロキシサーバを使用する設定になっていると、正しくインターネットに接続できない場合があります。

以上でパソコンのネットワークの設定は完了です。

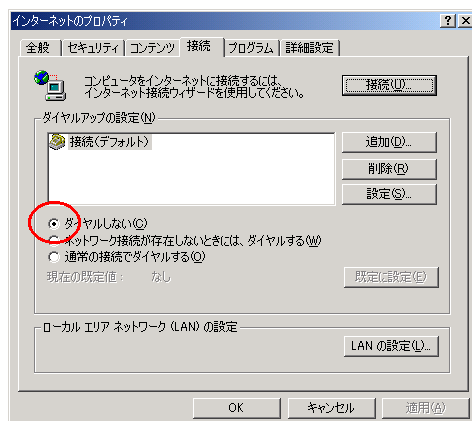


## 2-2. Windows® 2000 の設定

- ① 「スタート」ボタン→「設定」→「ネットワークとダイヤルアップ接続」をクリックします。
- ② 「ローカルエリア接続」を右クリックし、「プロパティ」を選択します。
- ③ コンポーネントリストから「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択し、「プロパティ」ボタンをクリックします。
- ④ 「IPアドレスを自動的に取得する」と「DNSサーバのアドレスを自動的に取得する」にチェックを入れ、「OK」ボタンをクリックします。



- ⑤ 「コントロールパネル」の「インターネットオプション」をダブルクリックします。
- ⑥ 「接続」タブをクリックします。
- ⑦ ダイヤルアップの設定がある場合は「ダイヤルしない」という項目にチェックを入れ、「OK」ボタンをクリックします。



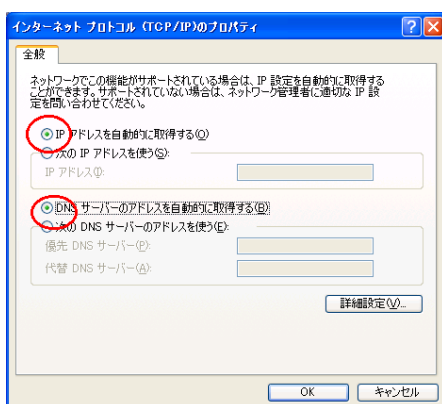
※ 「LANの設定」で、プロキシサーバを使用する設定になっていると、正しくインターネットに接続できない場合があります。

以上でパソコンのネットワークの設定は完了です。

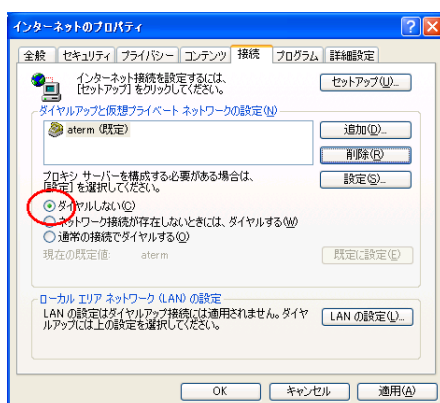
## 2-3. Windows® XP の設定

以下は、あらかじめ LAN または高速インターネット接続アイコンが登録されている場合の例です。  
Windows® XP の設定により表示内容が異なる場合があります。

- ① 「スタート」ボタン→「コントロールパネル」→「ネットワークとインターネット 接続」→「ネットワーク 接続」をクリックします。
- ② 「ローカルエリア接続」を右クリックし、プロパティを選択します。
- ③ 「全般」タブをクリックします。
- ④ 「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択し、「プロパティ」ボタンをクリックします。
- ⑤ 「IPアドレスを自動的に取得する」と「DNSサーバのアドレスを自動的に取得する」にチェックを入れ、「OK」ボタンをクリックします。



- ⑥ 「OK」ボタンをクリックします。
- ⑦ 「戻る」ボタンをクリックします。
- ⑧ 「ネットワークとインターネット 接続」画面の「インターネットオプション」をクリックします。
- ⑨ 「接続」タブをクリックします。
- ⑩ リストにダイヤルアップの設定がある場合は、「ダイヤルしない」という項目にチェックを入れます。



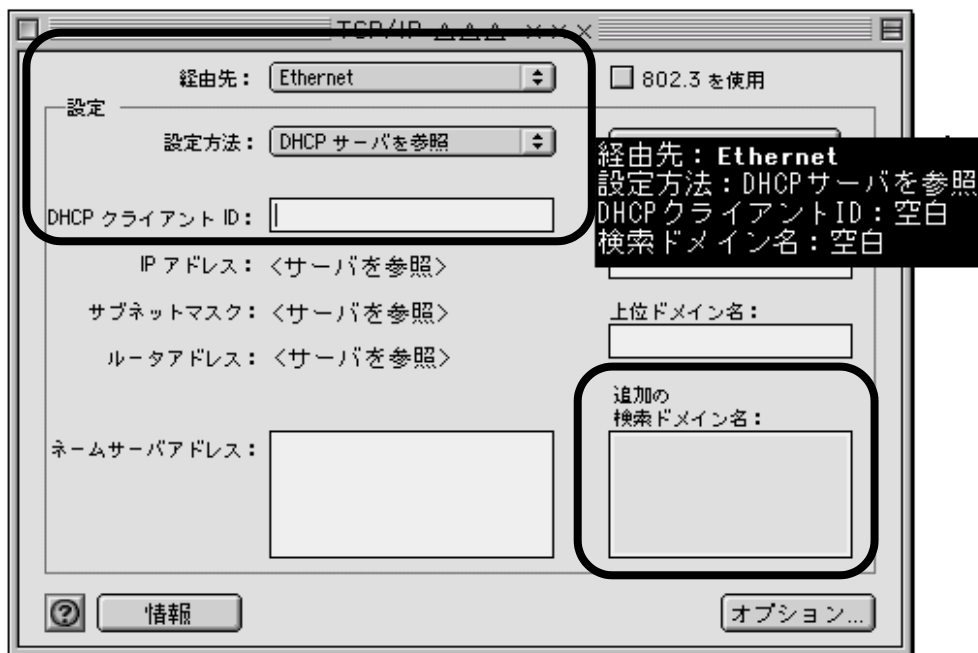
- ⑪ 「OK」ボタンをクリックします。

※ 「LANの設定」で、プロキシサーバの設定がされていると、正しくインターネットに接続できない場合があります。

以上でパソコンのネットワークの設定は完了です。

## 2-4. Mac OS 8.6/9.1/9.2 の設定

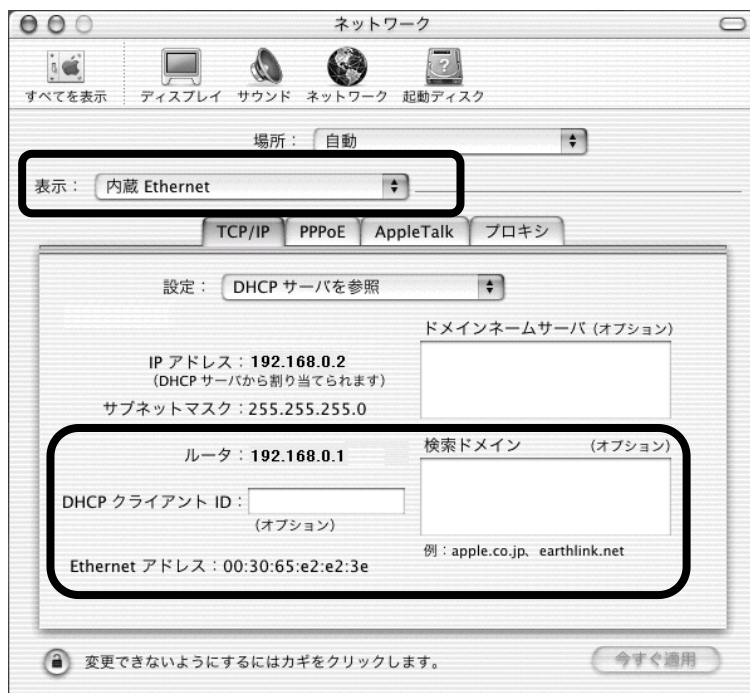
- ①アップルメニューから「コントロールパネル」→「TCP/IP」を選択してください。  
「TCP/IP」の画面が開きます。
- ②「経由先」に「Ethernet」を設定し、「設定方法」を「DHCP サーバを参照」に設定し、「DHCP クライアント」と「検索ドメイン名」を空白にしてください。



以上でパソコンのネットワークの設定は完了です。

## 2-5. Mac OS X の設定

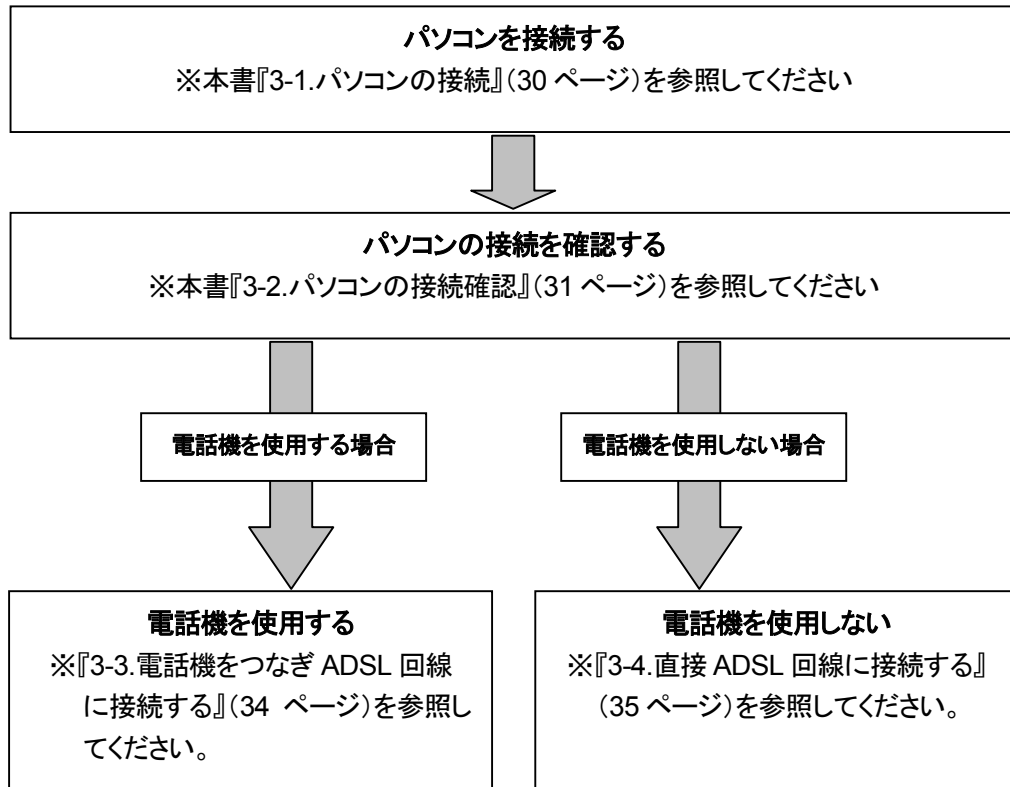
- ①アップルメニューから「システム環境設定」を選択します。
- ②ネットワークアイコンをダブルクリックします。  
「TCP/IP」の画面が開きます。  
「表示」に「内蔵 Ethernet」を設定し、「設定」を「DHCPサーバを参照」に設定し、「DHCPクライアント ID」と「検索ドメイン名」を空白にします。



以上でパソコンのネットワークの設定は完了です。

## 3. 接続する

本商品を電話機やパソコン、スプリッタと接続する手順を説明します。



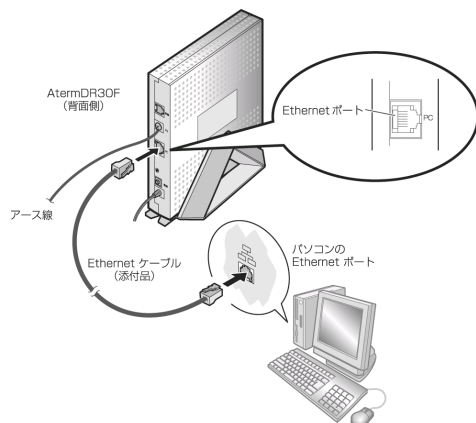
- ADSL 回線で電話機(またはファクス)を併用するには、スプリッタが必要です。

## 3-1. パソコンの接続

### 本商品とパソコンを接続する

次の手順でパソコンを接続してください。

- ① パソコンの電源は切っておきます。
- ② 添付のEthernetケーブル(ストレート)を使用して、本商品のEthernetポートとパソコンを接続してください。



(イラストは AtermDR30F の場合です)

- ③ 電源アダプタを電源コンセント(AC100V)に差し込んでください。
- ④ 本商品とパソコンの電源を入れて、ランプの状態を確認します。
  - (1) 本商品の電源を入れると、POWERランプが点灯します。
  - (2) 本商品の電源を投入すると、セルフテストが開始され、10~20秒程度の間PPPランプが点灯します。
  - (3) セルフテストが完了するとPPPランプが消灯します。
  - (4) LANランプが点灯します。
  - (5) LINEランプが点滅を開始します。

ランプの表示が上記と異なる場合は、本書の『6-3. 故障かな?と思ったら』(61ページ)を参照のうえ、対処してください。

## 3-2. パソコンの接続確認

本商品のIPアドレスは、初期状態「192.168.0.1」に設定されています。

### 本商品とパソコンの接続を確認する

次にIPアドレスの確認方法について、OSごとに説明します。

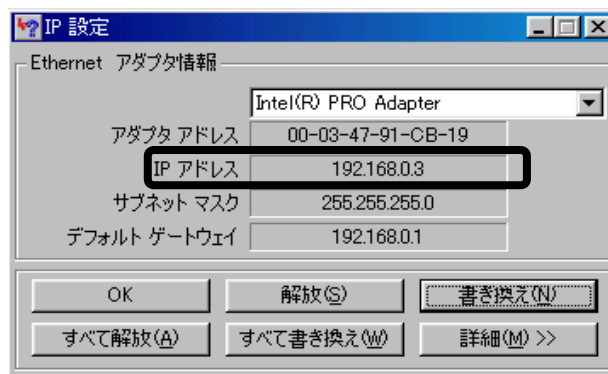
### 3-2-1.IPアドレスの確認－Windows® Me/98/95の場合

※パソコンの電源が入っている場合は、いったんパソコンの電源を切ってから開始してください。

- ① パソコンの電源を入れ、本商品のLANランプが点灯するまでお待ちください。
- ② パソコンが立ち上がったら、「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」をクリックします。
- ③ 「winipcfg」と入力後、「OK」ボタンをクリックします。
- ④ 下の画面が表示されたら▼をクリックし、お使いのLANカード／LANボードの名前を選択します。

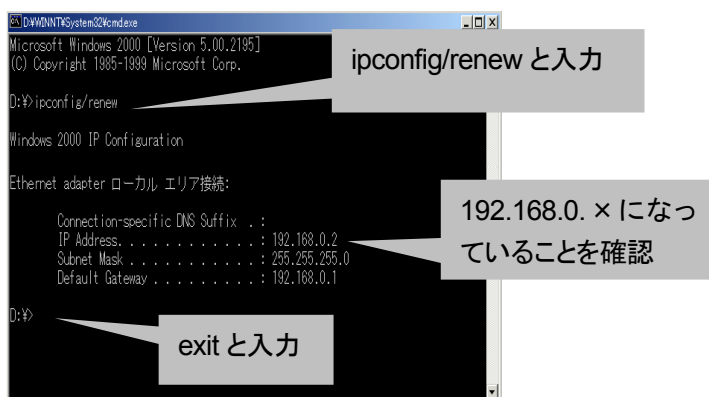


- ⑤ IPアドレスが「192.168.0.×」となっていることを確認し、「OK」ボタンをクリックして閉じます。  
(×は任意の数字です)



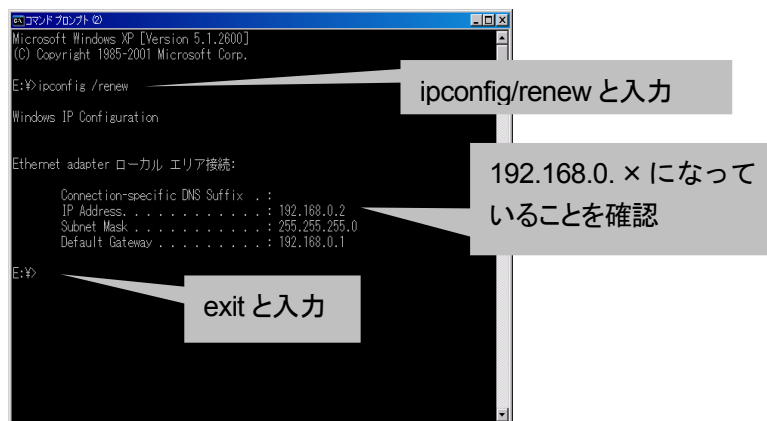
## 3-2-2.IPアドレスの確認－Windows® 2000 の場合

- ① パソコンの電源を入れ、本商品のLANランプが点灯するまでお待ちください。
- ② 「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「コマンドプロンプト」をクリックします。  
「コマンドプロンプト」の画面が表示されます。
- ③ 「ipconfig/renew」と入力して「Enter」キーを押します。
- ④ 「Ethernet adapter ローカル エリア接続:」が表示され、IPアドレスが「192.168.0.×」になっていることを確認します。(×は、任意の数字です。)
- ⑤ 「exit」と入力して「Enter」キーを押します。



## 3-2-3.IPアドレスの確認－Windows® XP の場合

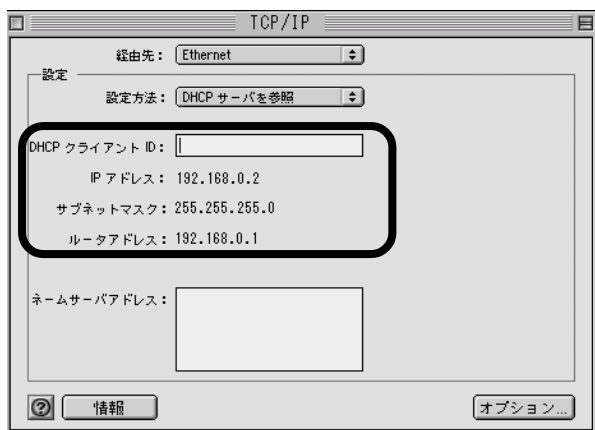
- ① パソコンの電源を入れ、本商品のLANランプが点灯するまでお待ちください。
- ② 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「コマンドプロンプト」をクリックします。  
「コマンドプロンプト」の画面が表示されます。
- ③ 「ipconfig/renew」と入力し、「Enter」キーを押します。
- ④ 「Ethernet adapter ローカル エリア接続:」が表示されたら、IPアドレスが「192.168.0.×」になっていることを確認します。(×は任意の数字です)
- ⑤ 「exit」と入力し、「Enter」キーを押します。





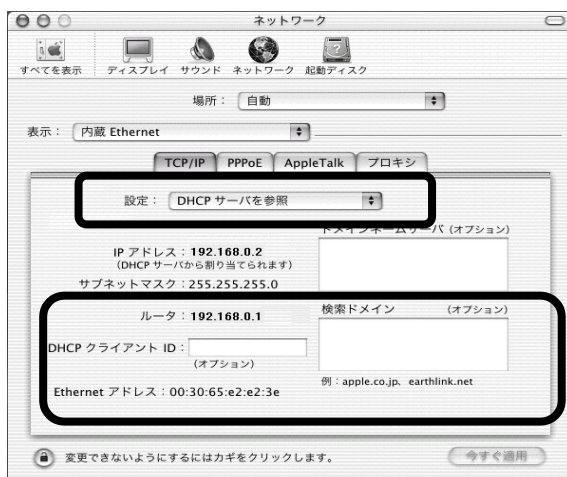
## 3-2-4.IPアドレスの確認－Mac OS 8.6／9.1／9.2の場合

- ① パソコンの電源を入れ、本商品のLANランプが点灯するまでお待ちください。
- ② アップルメニューから「コントロールパネル」→「TCP/IP」を選択します。  
IPの設定画面が開きます。
- ③ IPアドレスが「192.168.0.×」になっていることを確認します。(×は任意の数字です)



## 3-2-5.IPアドレスの確認－Mac OS X の場合

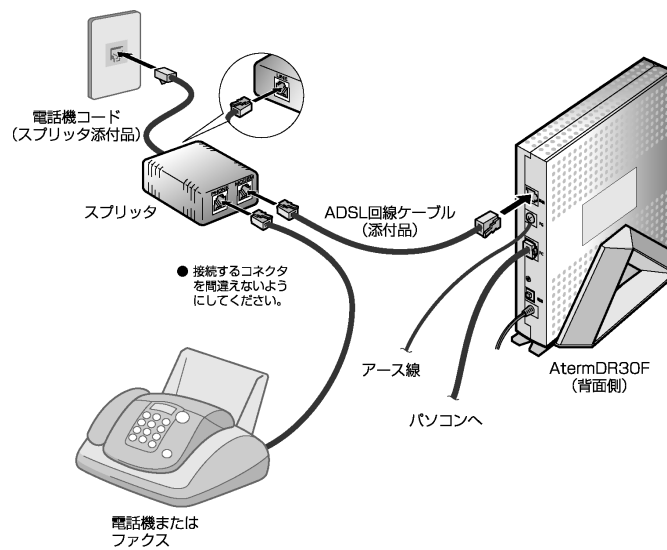
- ① パソコンの電源を入れ、本商品のLANランプが点灯するまでお待ちください。
- ② アップルメニューから「システム環境設定」を選択し、ネットワークアイコンをダブルクリックします。  
「TCP/IP」の画面が開きます。
- ③ 「表示」に「内蔵 Ethernet」を設定し、「設定」を「DHCPサーバを参照」に設定し、「DHCPクライアントID」と「検索ドメイン名」を空白にします。  
IPアドレスが「192.168.0.×」になっていることを確認します。(×は任意の数字です)



### 3-3. 電話機をつなぎADSL回線に接続する

電話機を併用しない方は、本書の『3-4. 直接 ADSL 回線に接続する』(35ページ)に進んでください。

- ① 添付のADSL回線ケーブルを使用して、本商品のADSL回線コネクタとスプリッタ(MODEMポート)を接続してください。
- ② スプリッタに添付または接続されている電話機コードを使用して、スプリッタ(LINEポート)とADSL回線のモジュージャックを接続してください。
- ③ 現在電話機に接続されている電話機コードを使用して、電話機とスプリッタ(PHONEポート)を接続してください。



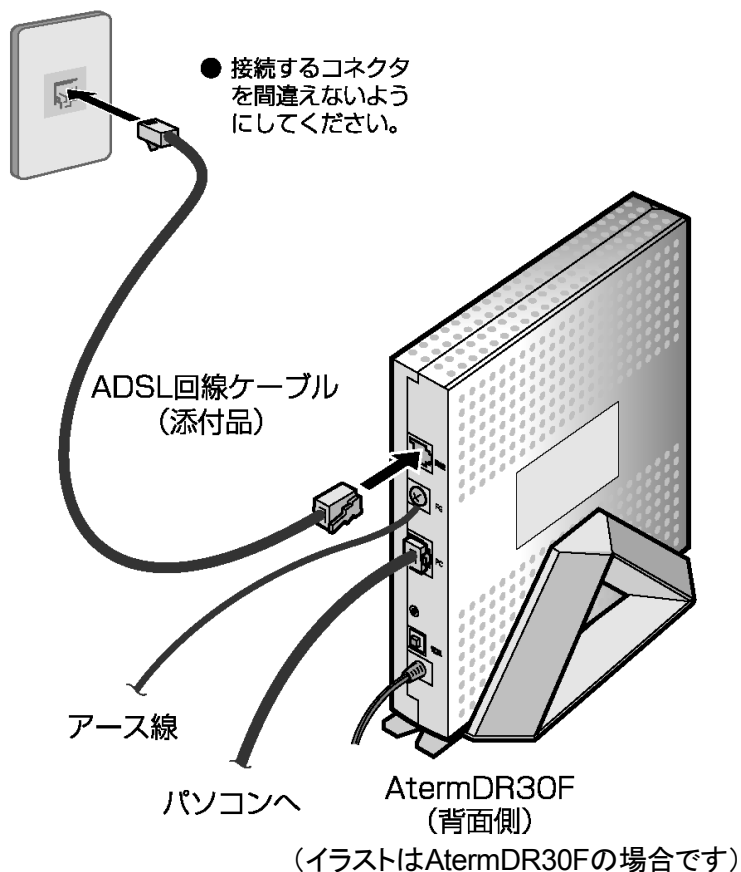
(イラストはAtermDR30Fの場合です)

- ④ LINEランプが速い点滅を開始し、数十秒後点灯に変わることを確認します。  
LINEランプが点灯に変わらない場合は、本書の『6-3.故障かな?と思ったら』(61ページ)を参照のうえ、対処してください。
- 使用する機器や設置する場所などの使用状況に合わせる必要があるため、接続図と異なる場合があります。
  - スプリッタは、添付のスプリッタを使用してください。それ以外のスプリッタを使用した場合、正常に動作しないことがあります。
  - 電話機は、ブランチ接続しないでください。
  - ADSL回線の開通工事が完了していない場合、LINEランプは遅い点滅のままで点灯しません。
  - スプリッタはイラストと形状が違う場合があります。  
スプリッタの「LINE」または「WALL」には、ADSL回線を  
「PHONE」には電話機またはファクスを  
「MODEM」にはAtermをそれぞれ接続してください。  
スプリッタによって表示が異なる場合があります。その場合はスプリッタに添付された取扱説明書に従ってください。

## 3-4. 直接ADSL回線に接続する

電話機を併用しない方は、本商品を直接 ADSL 回線に接続します。

- ① 添付のADSL回線ケーブルを使用して、本商品のADSL回線コネクタとADSL回線のモジュージャックを接続してください。



- ② LINEランプが速い点滅を開始し、数十秒後点灯に変わることを確認します。LINEランプ点灯に変わらない場合は、本書の『6-3.故障かな?と思ったら』(61ページ)を参照のうえ、対処してください。

ADSL回線の開通工事が完了していない場合、LINEランプは遅い点滅のままで点灯しません。

## 4. 設定する

本商品を設定し、インターネットに接続するまでを説明します。

パソコンから Web ブラウザ (Internet Explorer 等) で本商品にログインすることによって、Web ブラウザで本商品の設定を行うことができます。

ご利用になれる Web ブラウザについては、本書の『1-4. あらかじめ確認してください』(20 ページ)を参照してください。

(お使いの Web ブラウザ設定にて、プロキシサーバを使用する設定になっている場合、本商品の Web 画面が表示されないことがあります。)

## 4-1. Webブラウザでログインする

パソコンの電源を入れ、Web ブラウザを立ち上げてください。

本商品に Web ブラウザでログインする場合は、URL を下記のように入力してください。

**http://192.168.0.1/**

※192.168.0.1＝本商品の IP アドレス

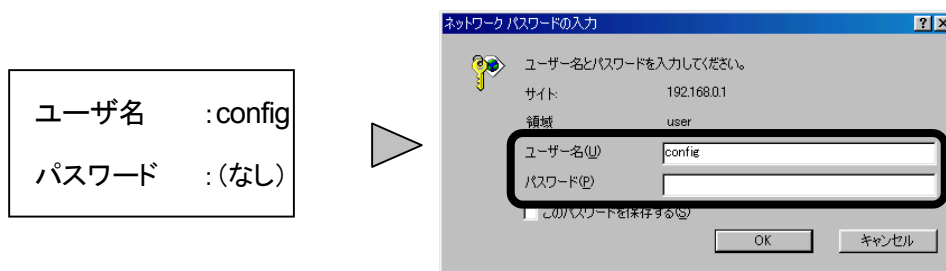
本商品の IP アドレスは、初期状態（工場出荷時）に「192.168.0.1」に設定されています。

（IP アドレスを変更し、そのアドレスを忘れてしまった時は、『6-1.Aterm を初期化する』（59 ページ）を参照して、本商品の初期化を行ってください。）

パソコンの Web ブラウザには、下記のように入力します。

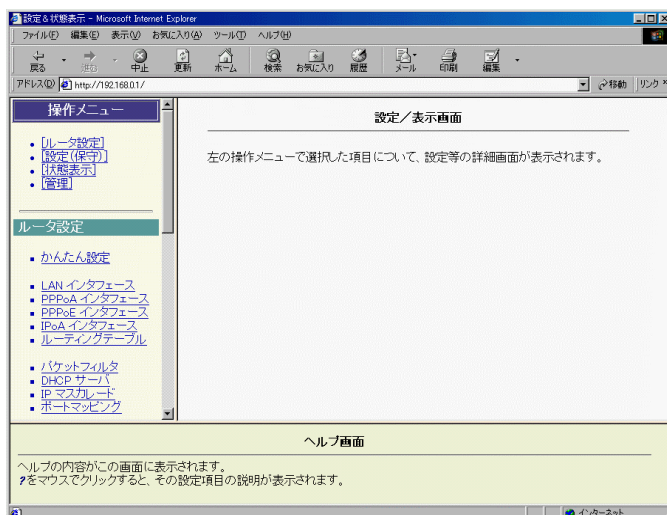


上記接続を開始すると次に認証画面が表示されます。ユーザ名／パスワードについては、初期状態（工場出荷時状態）で下記のように設定されています。



※パスワードは初期状態では設定されていません。

ユーザ名に「config」、パスワードには何も入力せずに、「OK」ボタンをクリックすると、Web ブラウザ上に本商品の設定画面が表示されます。



## 4-2. 「かんたん設定」による設定

- ① メニュー画面の「かんたん設定」をクリックします。  
メイン画面に「かんたん設定」の設定画面が表示されます。



- ② 接続先のログイン名とパスワードを設定します。通常、契約しているプロバイダから指定されます。

- 下記は、ログイン名に“ abcdef@xxxxxxx.yyy “、パスワードに“ abcde “ と設定した場合の例です。

接続先ログイン名&パスワード	
ログイン名 ?	abcdef@xxxxxxx.yyy
パスワード ?	***** <input type="checkbox"/> パスワードを空にする

← 例: “abcdef@xxxxxxx.yyy “ と入力

← 例: “abcde “ と入力

なお、パスワードについては、入力した文字が “\*” と表示されます。

※ 「設定」ボタンをクリック後は、パスワードが設定されている場合でもパスワード部分は空欄の画面表示になります。

- 下記は、ログイン名に“ abcdef@xxxxxxx.yyy “、パスワードが通知されていない場合の例です。

接続先ログイン名&パスワード	
ログイン名 ?	abcdef@xxxxxxx.yyy
パスワード ?	<input type="checkbox"/> パスワードを空にする

← 例: “abcdef@xxxxxxx.yyy “ と入力

← 例: (なし)

- ③ 「DNSサーバアドレス」の設定を行います。通常、契約しているプロバイダから指定されます。DNSアドレスを自動的に取得させる場合は、「自動取得」にチェックしてください。この場合、「プライマリ」、「セカンダリ」のIPアドレスは設定しないでください。

例えば、DNSアドレスの自動取得を使用する場合は下記のように設定してください。

DNS サーバアドレス	
	<input checked="" type="checkbox"/> 自動取得 ?
DNS アドレス	プライマリ ? <input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/>
	セカンダリ ? <input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/>

プロバイダからDNSサーバアドレスが指定されている場合は自動取得のチェックを外し、「プライマリ」、「セカンダリ」にDNSアドレスを設定してください。

- ④ 「ADSL側インタフェース設定」で「ADSLサービス」の選択をします。AtermDR30F/CE、DR35FH/CE、AtermDR30F/GS、DR35FH/GSでは、ご利用になれるADSLサービスが異なります。

#### 【AtermDR30F/CE、DR35FH/CEをご利用の場合】

ご契約のADSL接続事業者の設定を設定1～設定4、およびその他の設定から選択してください。

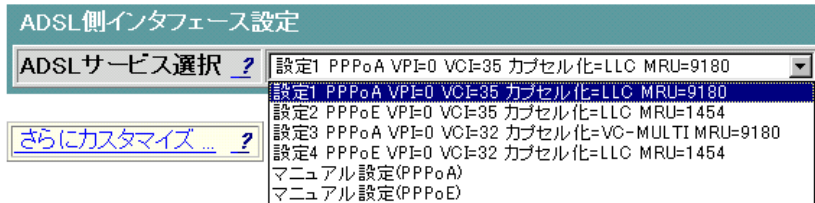
ADSL側インタフェース設定	
ADSLサービス選択 ?	その他の設定 PPPoA VPI=0 VCI=32 カプセル化=LLC MRU=9180
	設定1 PPPoA VPI=0 VCI=32 カプセル化=VC-MULTI MRU=9180
	設定2 PPPoE VPI=0 VCI=32 カプセル化=LLC MRU=1454
	設定3 PPPoA VPI=0 VCI=35 カプセル化=LLC MRU=9180
	設定4 PPPoE VPI=0 VCI=35 カプセル化=LLC MRU=1454
	その他の設定 PPPoA VPI=0 VCI=32 カプセル化=LLC MRU=9180
	マニュアル設定(PPPoA)
	マニュアル設定(PPPoE)

設定1～設定4、およびその他の設定の各接続先は本商品に添付の「かんたん設定対応事業者リスト」をご覧ください。

※ ご利用のADSLサービスの設定がわからない場合は、ご契約のADSL接続事業者にお問い合わせください。

## 【AtermDR30F/GS、DR35FH/GS をご利用の場合】

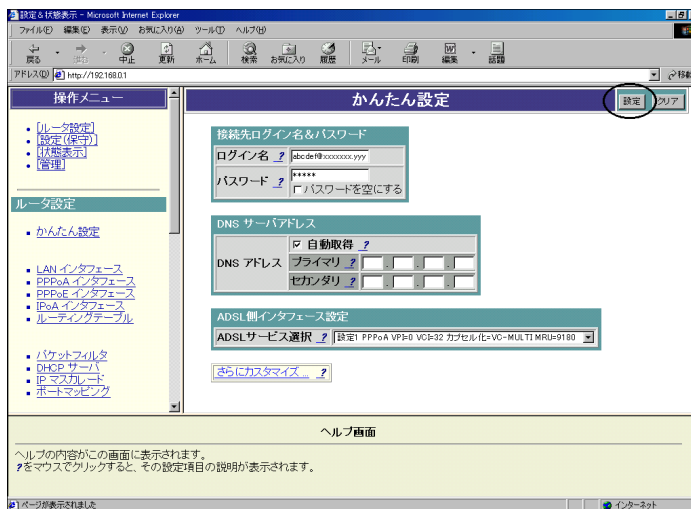
ご契約のADSL接続事業者の設定を設定1～設定4から選択してください。



設定1～設定4の各接続先は本商品に添付の「かんたん設定対応事業者リスト」をご覧ください。

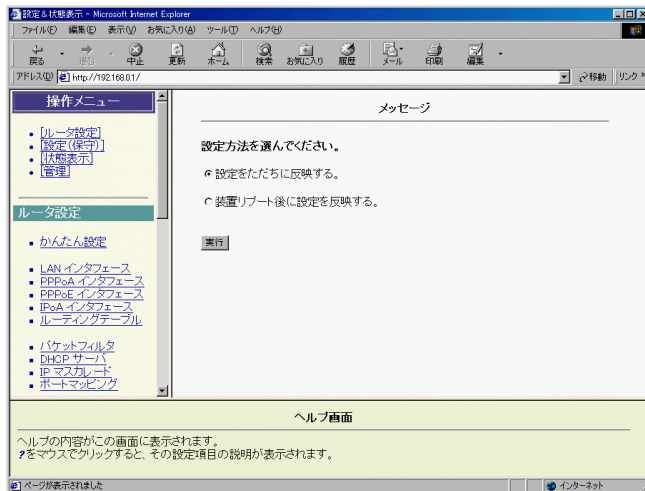
※ ご利用のADSLサービスの設定がわからない場合は、ご契約のADSL接続事業者にお問い合わせください。

⑤ 設定終了後、「設定」ボタンをクリックします。





⑥ 「設定をただちに反映する」を選択し、「実行」ボタンをクリックします。



⑦ メイン画面にセーブ画面が表示されますので、「設定をセーブする」をクリックします。

PPPランプが数十秒後点灯に変わることを確認します。

PPPランプが点灯に変わらない場合は、本書の『6-3.故障かな?と思ったら』(61ページ)を参照のうえ、対処してください。

### パスワードの削除

パスワードを削除する場合は、「パスワードを空にする」をチェックし、「設定」ボタンをクリックしてください。

接続先ログイン名&パスワード	
ログイン名 ?	abcdef@xxxxxxx.yyy
パスワード ?	<input type="password"/>
	<input checked="" type="checkbox"/> パスワードを空にする

## 4-3. インターネットに接続する

『Internet Explorer』や『Netscape Communicator』などのWebブラウザを起動します。ご覧になりたいホームページなどのアドレスを入れて、インターネットをしてみましょう。

電子メールなど、パソコン上のネットワークアプリケーションは各ソフトウェアの取扱説明書やインターネットプロバイダの案内などを見て、パソコンの設定をしてください。

ここまでで、インターネットへ接続するための設定は終了です。

## 5. 高度な利用

この章では、Web ブラウザの操作方法および高度な利用について説明します。

高度な機能の詳細説明および設定方法については、『詳細ガイド』(PDF ファイル)の各機能の「詳細設定について」を参照してください。

## 5-1. Webブラウザで設定する

本商品に Web ブラウザでログインすると、設定画面が表示されます。

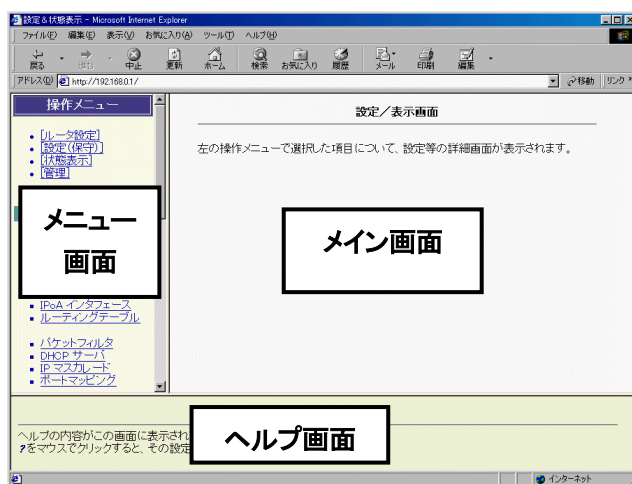
以下の手順に従って、設定を行ってください。

(お使いの Web ブラウザ設定にて、プロキシサーバを使用する設定になっている場合、本商品の Web 画面が表示されないことがあります。)

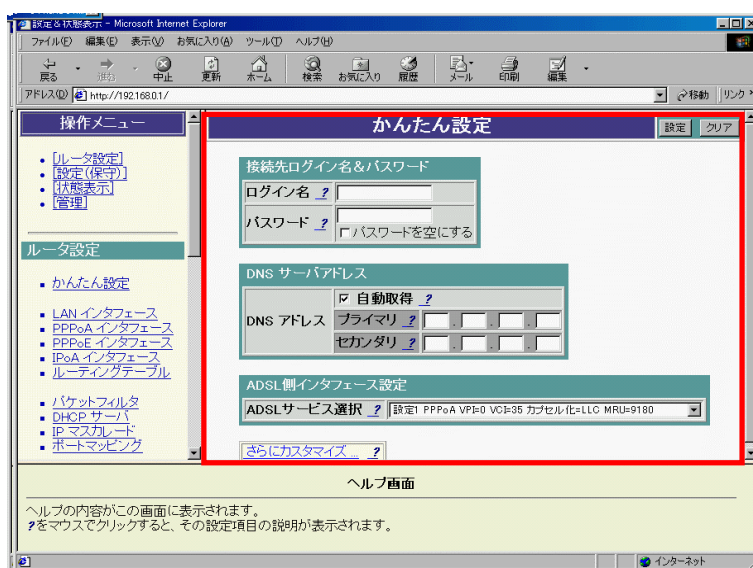
### Webブラウザの操作方法について

Web ブラウザを使用して本商品へのログインが成功すると、本商品の設定画面が表示されます。

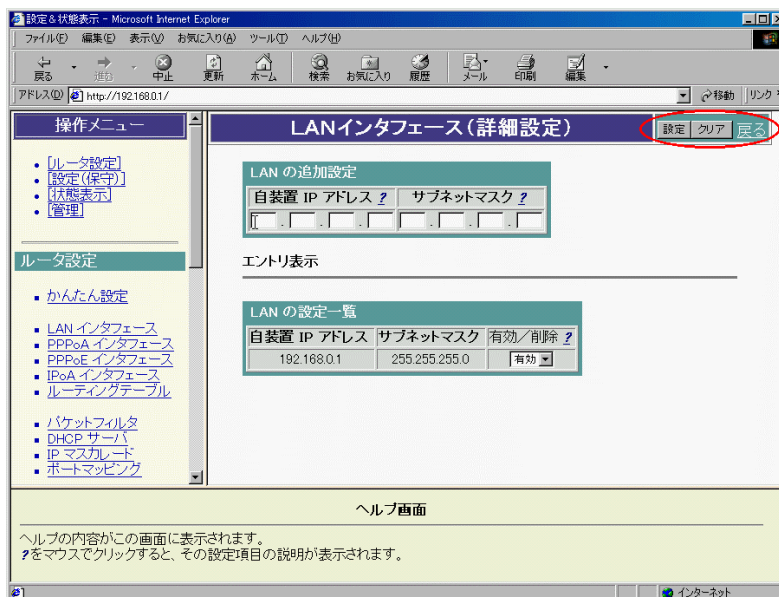
設定画面は、「メニュー画面」、「メイン画面」、「ヘルプ画面」の 3 つから構成されています。



- 「メニュー画面」には、本商品の設定項目が並んでいます。設定する項目をクリックすると、「メイン画面」に、設定内容が表示されます。本商品への設定は、「メイン画面」を通して行います。



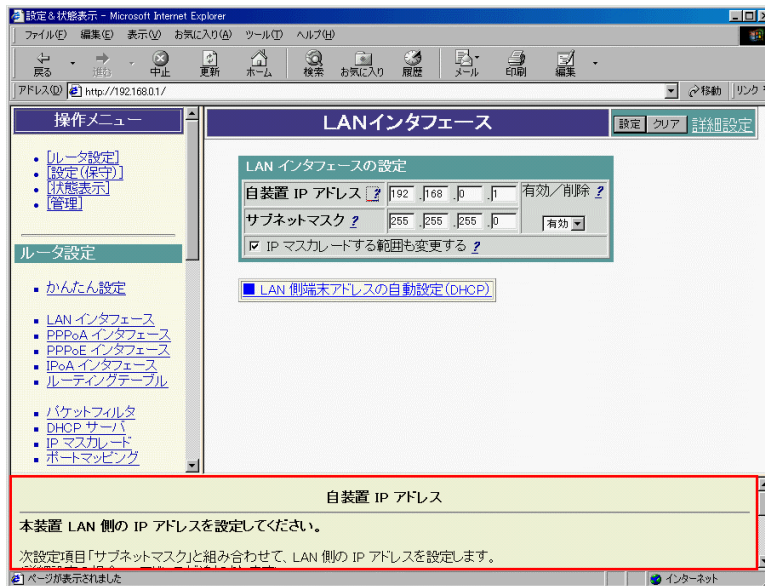
「メイン画面」の右上(または右下)には『設定』ボタン、『クリア』ボタン、『詳細設定』ボタン、『戻る』ボタンがあります(設定項目によって、表示される内容が異なります。)



#### ●各ボタンについて

- 設定** : 設定した内容を反映させたい場合にクリックします(設定内容がセーブされるわけではありません。設定のセーブについては本書の『5-2. 設定をセーブ・リブートする』(47ページ)を参照してください。)
- クリア** : 入力した内容をクリアしたい(入力前の状態に戻したい)場合にクリックします。ただし、設定が反映されていない内容にのみ有効です(既に『設定』ボタンがクリックされた内容についてはクリアされません。)
- 詳細設定** : メニュー画面で選択した設定項目について、詳細に設定したい場合にクリックします。この『詳細設定』をクリックすると、「メイン画面」に詳細設定画面が表示されます。ただし、**『設定』ボタンをクリックする前に『詳細設定』をクリックすると、それまで設定していた内容が入力前の設定値に戻ります**ので注意してください。
- 戻る** : 詳細設定画面から、元の画面に戻る場合にクリックします。

「メイン画面」の各設定項目には、“？”のマークが付いています。この“？”をクリックすると、「ヘルプ画面」に各設定項目の内容が表示されます。



#### 使用可能な文字列について

本商品の文字列設定で使用可能な文字は、「0x20~0x7e」のASCIIコードを持つキャラクタです。

具体的には、以下の半角文字です。全角の日本語や、半角のカタカナ等は使用できません。

- ・数字と大文字小文字のアルファベット
- ・記号 スペース ! " # \$ % & ' ( ) \* + , - . / : ; < = > ? @ [ ¥ ] ^ \_ ` { | } ~

※ご使用のパソコンの機種によっては、¥ は \ 、~ は ~ と表示されます。

入力されたコマンド等は英字の大文字と小文字が異なるものとして扱われます。

#### 本商品で扱うパスワードについて

本商品で扱うパスワードには次の2種類があります。

種類	説明	設定メニュー
インターネット接続のアカウント	ADSL 接続時に使用します。通常、契約しているプロバイダから指定されます。	かんたん設定
本商品へのログイン用	本商品への Web ブラウザからのログインに使用します。	ユーザ用パスワード

※設定方法については、各設定メニューの章を参照してください。

## 5-2. 設定をセーブ・リブートする

本商品の設定は、設定セーブ後、または装置リブート後に有効になります。

### セーブについて

本商品のセーブ(設定データのセーブ)は、下記の手順で行います。

- ① メニュー画面の「セーブ」をクリックします。  
メイン画面に「セーブ」の設定画面が表示されます。
- ② 「設定をセーブする」ボタンをクリックします。

必要に応じて、本商品をリブートしてください。

本商品のリブートについては、次ページの「リブートについて」を参照してください。

※ 本書に記載されている機能以外の詳細機能には、本商品の設定を有効にするために、設定後にリブートが必要な機能もあります。

リブートが必要な機能、リブートが不要な機能の一覧は、『詳細ガイド』(PDF ファイル)の「設定が有効になる時期」に記載されています。



## リブートについて

本商品のリブート(再起動)は、下記の手順で行います。

- ① メニュー画面の「リブート」をクリックします。  
メイン画面に「リブート」の設定画面が表示されます。
- ② 「装置を再起動する」ボタンをクリックします。  
クリック数秒後、本商品がリブートします。



リブートには数十秒かかります。本商品のLINEランプがいったん消灯し、点滅を開始するまでお待ちください。

**再度、Webブラウザから設定を行う場合は、LINEランプが点滅を開始してから行ってください。**



## 5-3. 日付時刻を設定する

### 日付時刻について

本商品の日付時刻の設定は、下記の手順で行います。

- ① メニュー画面の「日付時刻」をクリックします。

メイン画面に「日付時刻」の設定画面が表示されます。

- ② 「コンピュータの時刻の取得」ボタンをクリックします。

本設定ボタンの上の入力項目にお使いのパソコンの日付・時刻が表示されます。

※ご使用の Web ブラウザによっては、本設定ボタンは無効な場合があります。そのような場合や、日付・時刻の設定を手動で行いたい場合は、本設定ボタンの上の入力項目に日付および時刻を設定してください。

- ③ 設定終了後、「設定」ボタンをクリックします。



日付の設定は、本商品の電源を OFF したり、リポートしたりすると消えてしまいます。再度電源を入れた後やリポート後には、必ず設定を行ってください。

## 5-4. UPnP機能

本商品とパソコンの UPnP 機能 (Universal Plug & Play : ユニバーサル プラグアンドプレイ) を利用すると、Windows Messenger や MSM Messenger を複数台のパソコンでご利用になれます。UPnP 機能は、本商品とパソコン側の設定が必要です。

**【ご注意】**

UPnP 機能は、UPnP 機能対応のパソコンでのみ、ご利用になれます。

OS ごとの詳細設定は、『詳細ガイド』(PDF ファイル)の「UPnP 機能」をご覧ください。

**【ご利用になれる OS】**

Windows® XP / Windows® Me

フレッツ ADSL などの PPPoE が使用できる環境では、PPPoE ブリッジを使用することにより、1 台のパソコンのみで利用できます。

なお、「電話をかける」サービスは、別途 ADSL 接続事業者とのご契約が必要です。

## 5-5. ポートマッピング機能を使う

本商品はインターネット側から割り振られる IP アドレスひとつで、複数のパソコンが通信できるように IP マスカレードというアドレス変換機能を用いています。そのため、ネットワークゲームなどのアプリケーションによっては正常に通信が行えなかったり、LAN 側に接続しているアプリケーションサーバの公開ができなかったりという不都合が生じることがあります。

このような場合には、下記の機能を用いることによって対応可能となることがあります。

「ポートマッピング機能」

本章では、この機能の設定方法を説明します。

### ポートマッピング機能

本機能は、IP マスカレード機能を使用時にローカルネットワーク内のサーバを公開する場合や、ゲームアプリケーションなどを動作させる場合に生じる問題について対応することを目的とした機能です。あらかじめ登録した設定テーブルに従って IP アドレスのみを固定的に変換することにより、IP マスカレードによるポート番号変換を実施せずにローカルとグローバルのネットワークをつなぐ機能です。

### ポート無変換機能

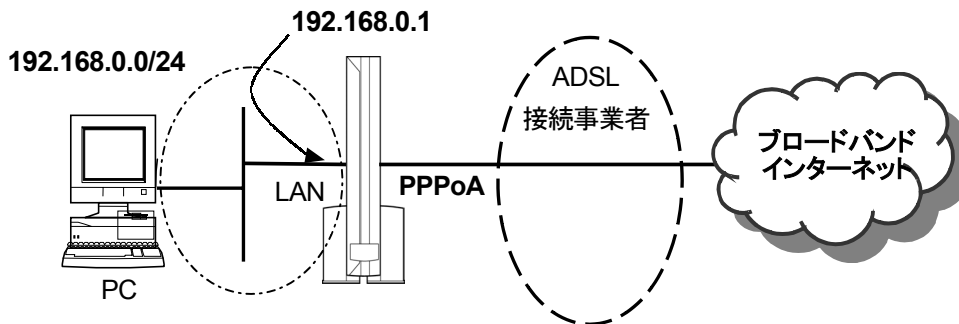
本機能は、ポートマッピング機能を拡張したものです。ポートマッピング機能では、本商品のローカルネットワーク内のホスト(転送先ホスト)をひとつだけ指定します。このため、その他のホストを使用したい場合、使用するホストを変更するたびに本商品の設定を変更する必要があります。そこで、本機能はローカルネットワーク側のホストを限定せず、送信元ポート番号のみを登録することにより、該当するパケットを、最初に送出したローカルネットワーク上の端末を転送先ホストとして自動的に定義します。

本商品のポートマッピング機能の設定例を説明します。

ポートマッピング機能・ポート無変換機能については『詳細ガイド』(PDF ファイル)の「ポートマッピングについて」に記載されている、機能、設定方法、注意事項などの詳細をよくお読みのうえ、ご利用ください。

## ポートマッピングのネットワーク接続／設定例

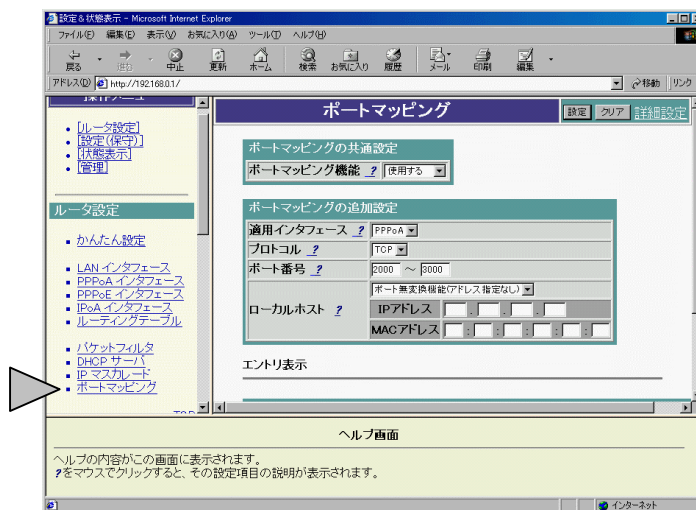
下記のネットワーク構成図ではWAN側インタフェースをPPPoAとしています。



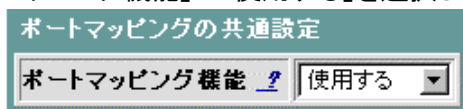
- ・ポートマッピングを適用するインタフェース : PPPoA
  - ・ポートマッピングに使用するポート番号 : TCP 2000 番 ~ 3000 番
  - ・ポートマッピングの対象となるローカルホスト : 192.168.0.100
- ※ポート無変換機能を利用する場合は、IP アドレス指定は不要です。

## ポートマッピングの設定手順

- ① メニュー画面の「ポートマッピング」をクリックします。  
メイン画面に「ポートマッピング」の設定画面が表示されます。



- ② 「ポートマッピング機能」で「使用する」を選択します。

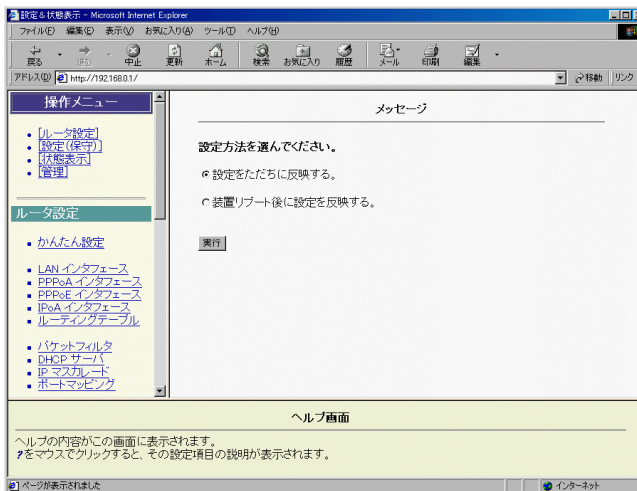


- ③ ポートマッピングを適用するインタフェース、ポートマッピング設定条件を設定します。

ポートマッピングの追加設定

適用インタフェース ?	PPPoA
プロトコル ?	TCP
ポート番号 ?	2000 ~ 3000
ローカルホスト ?	ポート無変換機能(アドレス指定なし)
	IPアドレス
	MACアドレス

- ④ 設定終了後、「設定」ボタンをクリックします。  
 ⑤ 設定した内容を直ちに反映するか、リポート後反映するかを選択します。



- ⑥ 「実行」ボタンをクリックします。  
 メイン画面にセーブ画面が表示されます。  
 ⑦ ②、③で設定した内容をセーブする場合は、「設定をセーブする」をクリックします。  
 「設定をただちに反映する」を選択した場合、設定一覧にポートマッピングの設定が追加されます。

ポートマッピング設定一覧

インタフェース	プロトコル	ポート番号	ローカルホスト		有効/削除 ?
			IP アドレス	MAC アドレス	
PPPoA	TCP	2000 ~ 3000	指定しない	指定しない	有効 ▾

### ポートマッピング設定の削除手順

ポートマッピングの設定を削除する場合は「ポートマッピング設定一覧」で「削除」を選択後、メイン画面の「設定」ボタンをクリックしてください。

ポートマッピング設定一覧

インタフェース	プロトコル	ポート番号	ローカルホスト		有効/削除 ?
			IP アドレス	MAC アドレス	
PPPoA	TCP	2000 ~ 3000	指定しない	指定しない	有効 ▾ 削除

## 5-6. パケットフィルタの初期設定について

本商品では、外部からの攻撃や不正侵入を防御するためにあらかじめ工場出荷時状態から、以下のパケットフィルタリング設定が行われています。インターネットへの接続には影響がございませんので、そのままの状態でご使用することをお奨めします。

### ① NetBIOS のフィルタリングについて

- ・適用インタフェース : 本商品の入力全インタフェース (LAN、PPPoA、PPPoE、IPoA)
- ・プロトコル : TCP、UDP
- ・ポート番号 : 137、138、139 (NetBIOS)

TCP/IP のポート 137,138,139 (NetBIOS over TCP/IP) は、Microsoft® 製品のネットワーク環境で便利になるように使われています。

通常、Microsoft® の NetBIOS ネットワーキングテクノロジーはインターネットへの接続や、インターネットサービスを使用するためには必要ありません。

LAN (ローカル・エリア・ネットワーク) 環境やイントラネット環境において、Windows® のネットワーク環境をご使用になる場合このフィルタリングの設定を削除する必要があります。ご注意ください。

### ② その他のポート番号へのフィルタリングについて

- ・適用インタフェース : 本商品の WAN 側入力全インタフェース (PPPoA、PPPoE、IPoA)
- ・プロトコル : TCP、UDP
- ・ポート番号 : 7 (Echo)、21 (FTP)、23 (TELNET)、69 (TFTP)、80 (HTTP)、161 (SNMP)

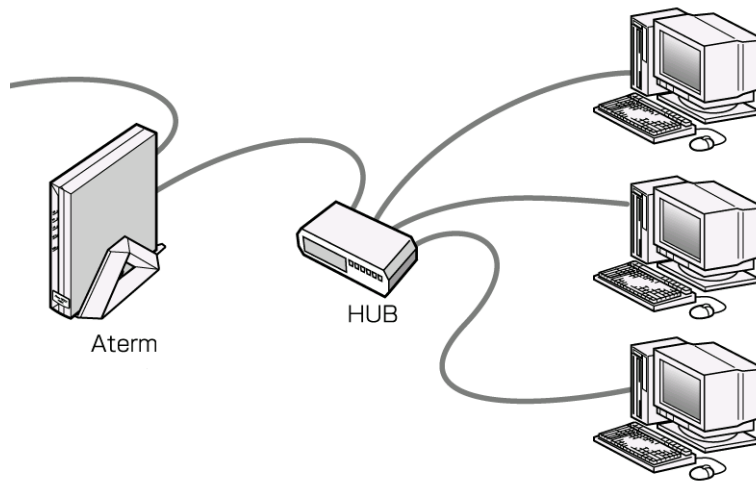
(注) お客様が FTP、HTTP サーバなど設置する場合は 21 (FTP)、80 (HTTP) ポートのフィルタリング設定の削除と、ポートマッピングの設定が必要になります。

詳しくは、『詳細ガイド』の「パケットフィルタについて」、「ポートマッピングについて」を参照してください。

(注) 7 (Echo) のフィルタリングは AtermDR30F/GS、DR35FH/GS のみとなります。

## 5-7. HUBを外付けして使う

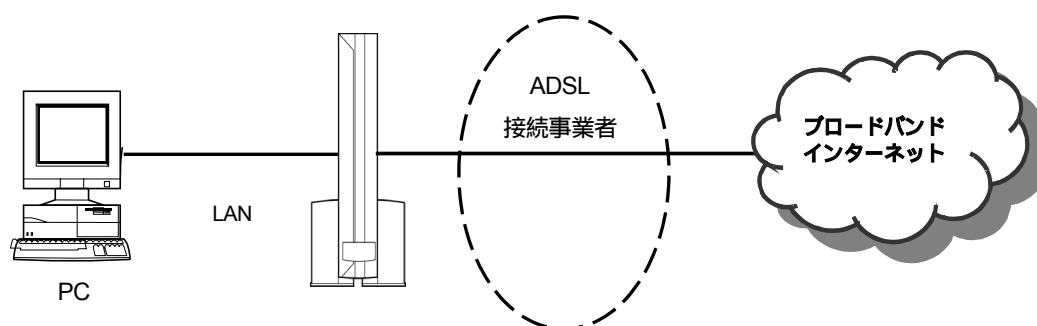
本商品は市販のHUBを経由して接続することも可能です。その場合には、カスケードポートを持ったHUBをご利用いただくか、クロスのエthernetケーブルをご使用ください。  
HUBを使用した場合も、本商品のLANランプが点灯すれば正しく接続されています。  
詳しくは、ご使用のHUBの取扱説明書をご覧ください。



## 5-8.ブリッジモードで使用する

本商品には、ルータモードとブリッジモードの2つの動作モードがあります。ご入手時はルータモードになっています。ルータモード時で特定のネットワークアプリケーションやネットワークゲームがご使用になれないときはブリッジモードにすることにより対応可能となることがあります。

ルータモードでは、IPマスカレード機能を使用することによって、複数のパソコンを同時にインターネットに接続することができますが、ブリッジモードでは1台のみインターネットに接続可能です。



### パソコンのネットワーク設定を行う

※本書の『2.パソコンのネットワークを設定する』(23 ページ)を参照してください。



### 本商品にインターネット接続設定を Web ブラウザで行う

※本書の『4-1.Web ブラウザでログインする』(37 ページ)を参照してください。



### 本商品を Web ブラウザでブリッジモードに切り替える



### 本商品の設定を保存する



### インターネットに接続する

※本書の『4-3.インターネットに接続する』(42 ページ)を参照してください。



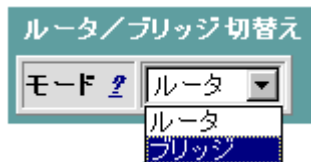
## ブリッジモードへの切り替え

本書『4-1.Web ブラウザでログインする』(37 ページ)の手順で、本商品に Web ブラウザでログインします。ルータモードとブリッジモードの切り替えは、「動作切替」画面で行います。以下に、その設定例を示します。

- ① メニュー画面の「動作切替」をクリックします。  
メイン画面に「動作切替」の設定画面が表示されます。



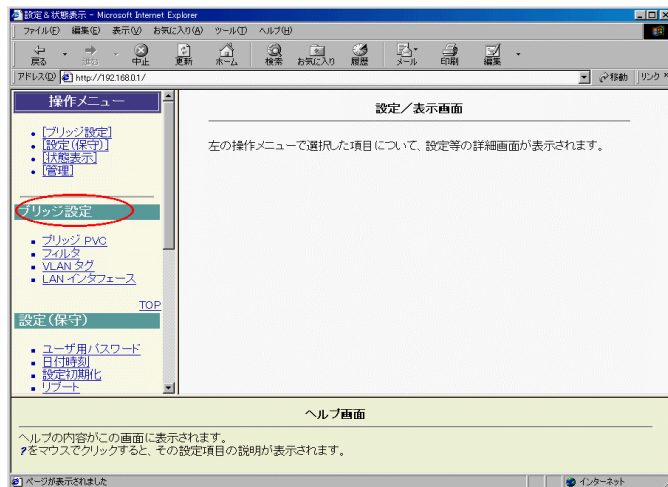
- ② 「ルータ/ブリッジ切替え」の選択ボックスから、「ブリッジ」を選択します。



- ③ 「設定」ボタンをクリックします。
- ④ メイン画面にセーブ画面が表示されますので、「設定をセーブする」をクリックします。
- ⑤ 本商品をリブートします。  
(本書の『5-2.設定をセーブ・リブートする』(47ページ)を参照してください。)  
リブート後は、ブリッジモードで動作します。

## ブリッジモードの確認

本商品にWebブラウザでログインしてブリッジモードで動作しているかを確認してください。ブリッジモードの場合、メニュー画面に「ブリッジ設定」の項目が表示されます。



ブリッジモードの確認はブリッジモードへの切り替え後すぐに実施しない場合は、確認ができません。

## ブリッジのためのパソコン設定

本商品をブリッジモードで動作させた場合、IPアドレスの自動割り当ては行われません。ブリッジモードへの切り替え後、長時間が経過したりパソコンの電源を切ったりした場合は、パソコンに固定的なIPアドレスを設定する必要があります。

Webブラウザで再度ログインする場合は、本書の「2.パソコンのネットワークを設定する」(23ページ以降 OSIによる設定)にて

**「IPアドレス:192.168.0.2」に固定し、「サブネットマスク:255.255.255.0」**

**「ゲートウェイ:指定しない」、「DNS設定:DNSを使わない」に設定してください。**

## インターネットに接続する

ブリッジモードでは本商品に直接接続したパソコンからインターネット接続する場合、パソコンに専用ソフト等をインストール、設定する必要があります。

## 6. 付録

### 6-1. Atermを初期化する

初期化とは、本商品に設定した内容を消去して工場出荷時の状態に戻すことをいいます。本商品がうまく動作しない場合や今までとは違う回線に接続し直す場合は、本商品を初期化して初めから設定し直すことをお勧めします。

いったん初期化すると、それまでに設定した値はすべて消去され、工場出荷状態に戻りますのでご注意ください。

#### 本商品にアクセスできないとき

本商品本体へのパスワードを忘れてしまったり、LAN の設定を間違えるなどして、本商品にアクセスできなくなった場合は、以下の手順に従って本商品を立ち上げてください。

- ① いったん本商品の電源を落とします。
- ② イニシャルスイッチを押しながら電源を入れてください(電源ON後、3秒以上押し続けてください)。イニシャルスイッチは先の尖ったつまよう枝などで押ししてください。
- ③ これで本商品にアクセスできます。  
続けて、下記の「設定初期化について」に従って設定値の初期化を行ってください。

#### 設定初期化について

本商品の設定初期化は、下記の手順で行います。

- ① メニュー画面の「設定初期化」をクリックします。  
メイン画面に「設定初期化」の設定画面が表示されます。
- ② 「設定を初期化する」ボタンをクリックします。
- ③ メッセージに従って本商品をリポートしてください。  
本商品のリポートについては、本書の『5-2. 設定をセーブ・リポートする』(47ページ)を参照してください。

## 6-2. OAM試験をする

### OAM試験について

インターネットに接続できなかったとき、原因がNTT局舎までのネットワークか、接続先サーバまでのネットワークにあるのか OAM 試験により切り分けができます。

OAM とはネットワークの運用状態を試験する機能です。

- ① メニュー「OAM 試験」をクリックします。
- ② 「End-to-End」にチェックします。
- ③ VPI/VCI から ADSL サービス選択で選んだプロトコルを選択します。
- ④ 「OAM セル送信」ボタンをクリックします。

「ループバック試験に失敗しました」とメッセージが出たら、再度接続をしておいてください。

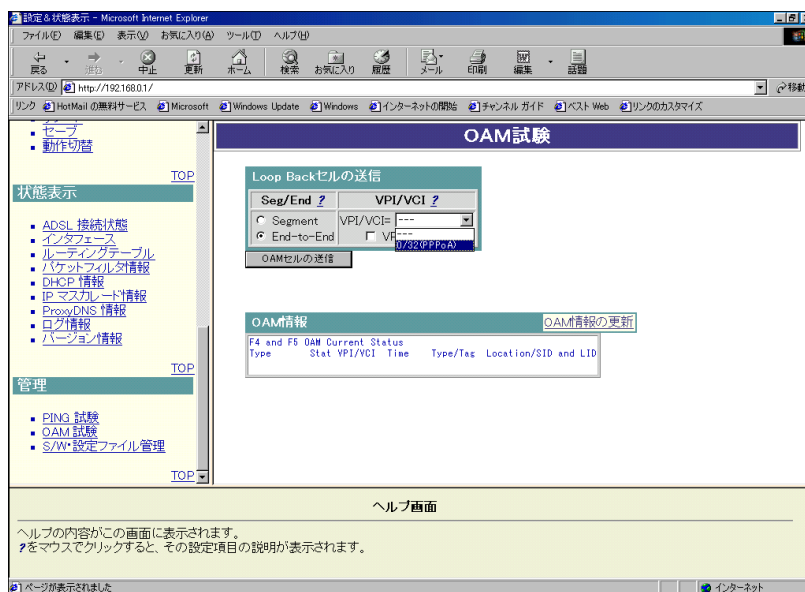
#### LINE ランプは点灯していますか？

ADSL のリンクが確立しないとループバックテストは成功しません。

#### 本マニュアルを見て ADSL モデムを設定しましたか？

設定されていないとループバックテストは行えません。

End-to-End は、接続先サーバまでのループバック試験で Segment はNTT局舎内の DSLAM 設置までのループバック試験です。



(AtermDR30F/CE、DR35FH/CE をご使用の場合の画面例です)

## 6-3. 故障かな?と思ったら

トラブルが起きたときや疑問点があるときは、まずここを読んで対処してください。

該当項目がない場合や対処をしても問題が解決しない場合は、本商品を初期化し、初めから設定し直してみてください。

### 設置に関するトラブル

どこまで設置、設定できているのか現在の症状をご確認のうえ、その原因と対策をご覧ください。

本商品前面の POWER ランプは点灯していますか？	→NG
↓OK	
本商品前面の LINE ランプは点灯していますか？	→NG
↓OK	
本商品前面の LAN ランプは点灯していますか？	→NG
↓OK	
パソコンに IP アドレスが設定されていますか？ (確認方法は、31 ページ参照)	→NG
↓OK	
Web ブラウザにて設定画面が表示されますか？	→NG
↓OK	
設定後、本商品前面の PPP ランプが点灯していますか？	→NG
↓OK	
インターネットに接続できましたか？	→NG

本症状の確認は、ルータモードでご使用の場合です。

ブリッジモードでご使用の場合は、本商品の PPP ランプは点灯しません。

症 状		原 因 と 対 策
電源を入れたとき	POWER ランプが点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● AC アダプタ(電源プラグ)が壁のコンセントから外れていないか確認してください。</li> <li>● 電源スイッチが入っていることを確認してください。</li> <li>● AC アダプタ(電源プラグ)がパソコンの電源に連動したコンセントに差し込まれている場合は、壁などの電源コンセントに直接接続してください。(パソコンの電源が切れると、本商品に供給されている電源も切れてしまいます。)</li> <li>● 電源コードが破損していないか確認してください。破損している場合はすぐに電源アダプタを電源コンセントから抜き、添付の保守事業者一覧をご覧くださいのうえ修理をご依頼ください。</li> </ul>
	LINE ランプが点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ADSL 回線の開通工事が完了していないことが考えられます。ADSL 接続事業者に開通工事が完了しているか確認してください。</li> <li>● 電話機が複数台接続されているときは、1台にしてください。</li> <li>● セキュリティアダプタやガス検知器などが接続されている場合は、ADSL 回線と併用できない場合があります。詳しくは、管理会社、住宅管理会社などへお問い合わせください。</li> <li>● お客様の設置場所がNTT局舎から離れている場合は、お使いになれないことがあります。</li> </ul>
	数分間待っても、LINE ランプが点滅している	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 接続しているポート(本商品のADSL回線ポート)は正しいかを確認してください。</li> <li>● 付属の電話機コードをしっかりと接続してください。本商品、スプリッタおよび回線用モジュージャックに正しく差し込まれているかを確認してください。その後2分たってもLINEランプが点灯しない場合は、サービスが受けられない状態か、またはADSL回線の設定に問題があることが考えられます。</li> </ul>
	LINE ランプが早点滅後、点灯せずに遅点滅に戻ってしまう	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ウォールジャック(モジュージャック)からスプリッタ間でブランチ(分岐)させていないか確認してください。</li> <li>● モジュージャックが複数ある場合、電話機を繋げる際には、スプリッタの増設が必要になる場合があります。また、スプリッタを増設してもうまくいかない場合は、宅内工事が必要になる場合があります。</li> </ul>

症 状		原 因 と 対 策
	LAN ランプが点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本商品とパソコンの両方に電源が入っていることを確認してください。</li> <li>● LANボードがパソコンに正しく設定されているかを確認してください。</li> <li>● Ethernetケーブルが、本商品のEthernetポート、パソコンの両方「カチッ」と音がするまで差し込まれているか確認してください。</li> </ul> <p><b>&lt;本商品に添付されている Ethernet ケーブル以外のケーブルをご使用の場合&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● Ethernet ケーブルがストレートケーブルであることを確認してください。</li> </ul> <p>(HUB を使用して接続する場合は、クロスケーブルで接続するか、HUB のカスケードポートを使用してください。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● Ethernet ケーブルがショート、もしくは断線していないか、または規格を満たしているかを確認してください。</li> </ul>
本商品が正常に動作しないが原因がわからない	設定に誤りがある	<p>設定に誤りがある場合があります。</p> <p>Web ブラウザにログインして、本商品の現在の設定を再度確認してください。</p> <p>※どうしても動作しない場合は、本書の『6-1 Aterm を初期化する』(59ページ)を参照し、ご購入時の状態に戻して、最初から設定し直してください。</p>

## 通信に関するトラブル

症 状	原 因 と 対 策
パソコンの IP アドレスが「192.168.0.x」に設定されていない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● パソコンの設定にて「IP アドレスを自動取得する」もしくは「DHCP サーバを参照」になっていることを確認してください。</li> </ul> <p>パソコンのIPアドレスが自動的に設定されるためには、パソコンよりも本商品の方が先に起動されて装置内部の処理が完了している必要があります。下記のどちらかの方法で確認してください。</p> <p>a. パソコンの電源を切り、再度パソコンの電源を入れる 起動後、29 ページ以降を参照して再度パソコンのアドレスを確認する。</p> <p>b. 次の手順で IP アドレスを取り直してください。</p> <p><b>&lt;Windows® Me/98 の場合&gt;</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 「スタート」→「ファイル名を指定して実行」をクリックします。</li> <li>② 「winipcfg」と入力して「OK」をクリックします。</li> <li>③ Ethernet アダプタ情報のプルダウンウィンドウから使用している Ethernet アダプタ名を選択します。</li> <li>④ 「解放」をクリックして、IPアドレスが「0.0.0.0」になっていることを確認します。「IP アドレスはすでに解放しています」と表示されたときは「OK」をクリックして、⑤へ進んでください。</li> <li>⑤ 「書き換え」をクリックして、IP アドレスが「192.168.0.xxx」になることを確認します。</li> </ol> <p><b>&lt;Windows® 2000 の場合&gt;</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 「スタート」→「プログラム」→「コマンドプロンプト」をクリックします。</li> <li>② 「ipconfig/renew」と入力して、「Enter」をクリックします。</li> <li>③ IP アドレスが「192.168.0.xxx」になることを確認します。</li> </ol> <p><b>&lt;Windows® XP の場合&gt;</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「コマンドプロンプト」をクリックします。</li> <li>② 「ipconfig/renew」と入力して、「Enter」をクリックします。</li> <li>③ IP アドレスが「192.168.0.xxx」になることを確認します。</li> </ol>



症 状	原 因 と 対 策
パソコンから本商品に接続できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● LANランプが点灯していることを確認してください。LANランプが点灯していない場合は、再度本書の『3.接続する』(29ページ)を参照して配線の確認をしてください。また、パソコンがLANカード/ボードを認識しているかを確認してください。</li> <li>● パソコンのネットワーク設定が間違っていないかどうか、『パソコンのネットワークを設定する』(23ページ)を参照して確認してください。</li> </ul>

## ADSL 接続に関するトラブル

症 状	原 因 と 対 策
Webブラウザで設定画面が表示されない	お使いのWebブラウザの設定にて、「プロキシサーバを使用する」になっている場合、本商品のWeb画面が表示されないことがあります。
ADSL接続が時々切れてしまう	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 設置場所がNTT局舎から離れていたり、幹線道路や鉄道のそばだと、通信が切断される場合があります。</li> <li>● 冷蔵庫・TV・電子レンジなど、ノイズを発生させる要因がある機器の上、横に置かれている場合はその機器から離してください。</li> <li>● セキュリティ装置が設置されていませんか？</li> <li>● 宅内にセキュリティ装置が設置されている場合は別途配線工事が必要になる場合があります。特に集合住宅の場合は、管理会社、管理組合にお問い合わせください。(セコム・火災報知器・ガス検知器など)</li> <li>● 保安器の問題の可能性があります。</li> <li>● 保安器の一部(6PTという種類)では、電話着信時にADSL回線が切断もしくは著しく速度低下することが確認されています。NTT113番に電話をしていただき保安器の種類を確認してください。また、6PT保安器の場合は、ADSL不適合のため、保安器の交換が必要になる場合があります。詳しくはNTT113番にお問い合わせください。</li> </ul>
OAM試験ループバックテストで失敗してしまった	LINEランプが点灯(ADSL回線とリンクがとれている)していないとループバックテストは必ず失敗します。LINEランプが点灯するように、再度『3.接続する』(29ページ)を参照して配線の確認をしてください。 本商品の設定はあっていますか？正しく設定していないとループバックテストは行えません。『4.設定する』(36ページ)を参照して、設定の確認をしてください。
通信中の速度が遅い	次のような場合には、十分な速度がでないことがあります。NTTに回線の収容替えを要求すると通信速度が速くなる場合があります。(有料) <ul style="list-style-type: none"> <li>・お客様の設置場所がNTT局舎から離れている</li> <li>・お客様の設置場所が幹線道路や鉄道のそばである</li> </ul>
途中から通信中の速度が遅くなった	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ADSL回線にアマチュア無線、CB無線、放送、電車、電力線などのノイズが入った場合、通信速度が遅くなる場合があります。</li> <li>● ADSLとISDNを併用する場合、回線の問題があり、速度が遅くなったり、つながらなくなる場合があります。</li> </ul>
通信が切断されることがある	次のような場合には、切断されることがあります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・お客様の設置場所が幹線道路や鉄道のそばである</li> <li>・電話回線に着信があった場合</li> </ul> 回線接続事業者かNTTへお問い合わせください。

症 状		原 因 と 対 策
インターネットに 接続できない	接続に失敗する	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ユーザIDとパスワードが間違っている →ADSLインターネット接続のユーザIDは、「*****@biglobe.ne.jp」のように@以下のプロバイダのアドレスまですべて入力するのが一般的です。プロバイダからのユーザIDとパスワードを再確認して正しく設定してください。</li> <li>● パソコンやADSL回線と正しく接続されているか確認してください。</li> <li>● お客様の設置場所がNTT局舎からはなれている場合は、お使いになれないことがあります。</li> <li>● セキュリティアダプタやガス検針器なおが接続されている場合は、ADSLと併用できないことがあります。詳しくは、回線接続事業者、管理会社、住宅管理会社などへお問い合わせください。</li> <li>● 本商品の電源を切ったあと、すぐに電源を入れないでください。5秒以上の間隔をあけてから電源を入れてください。</li> </ul>
	接続が成功しても ホームページが 開けない	<p>DNSサーバーアドレスが違っている。</p> <p>→自動取得できないプロバイダの場合は、プロバイダから指定されたDNSサーバーアドレスをプロバイダからの情報に従って「かんたん設定」画面のDNSサーバーアドレスの欄に入力してください。</p>

## 6-4. お問い合わせ

### ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの  必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

## 6-5. 製品仕様

■ ハードウェア仕様			
項目		DR30F	DR35FH
ADSL インタフェース	物理インタフェース	6ピンモジュージャック(RJ-11)	
	伝送方式	ITU-T G.992.1(G.dmt)／G.992.2(G.lite) Annex C (自動認識)	
	カプセル化	LLC、VC マルチプレクス	
	伝送速度	G.dmt: 下り最大 8Mbps／上り最大 1Mbps G.lite : 下り最大 1.5Mbps／上り最大 512kbps	
LAN インタフェース	物理インタフェース	8ピンモジュージャック(RJ-45)	
	ポート数	1ポート	4ポート
	インタフェース	10BASE-T	100BASE-TX／10BASE-T スイッチング HUB
	伝送速度	10Mbps	100Mbps／10Mbps
	全二重／半二重	全二重／半二重 切替可	オートネゴシエーション
	リバーススイッチ	なし	
ヒューマン インタフェース	状態 表示 ランプ	POWER	電源通電時点灯
		DATA	データ通信時点灯
		LAN	LAN リンクアップ時点灯
		PPP	PPP セッション確立時点灯
		LINE	ADSL リンク確立時点灯
動作環境		温度 5～40℃ 湿度 10～90%(結露しないこと)	
電源		AC100V±10%	
消費電力		最大約 14W	
外形寸法		約 31(W)×172(D)×172(H)mm(突起部分を除く)	
質量		0.9kg (AC アダプタを含む)	
VCCI		VCCI クラス B	

■ソフトウェア仕様		
ルータ機能	WAN プロトコル	PPPoA (PPP over ATM)、PPPoE (PPP over Ethernet)、IPoA (IP over ATM)
	PPP 認証	相手先に合わせる/PAP/CHAP/認証なし
	PPP 接続/切断	自動接続
	ルーティング方式	スタティックルーティング(最大 40 経路)、デフォルトルート設定可
	マルチサブネット機能	LAN 上に最大32個のサブネットを定義し、IP マスカレードの利用が可能
	セキュリティ機能	フィルタリング/ポートマッピング/IPマスカレード機能
	DHCP サーバ	あり
	ProxyDNS 機能	DNS 代理応答(DNS キャッシュ機能つき)
	IP パケットフィルタリング	プロトコル種別、パケット方向、送信元/宛先ポート番号範囲指定、送信元/宛先 IP アドレス範囲指定、TCP フラグによりフィルタリング
	IP マスカレード	あり(最大 4096 セッション)
	ポートマッピング	ポートマッピング機能(IP アドレス/MAC アドレス指定)およびポート無変換機能
ブリッジ機能	ブリッジ方式	IEEE802.1d ラーニングブリッジ (スパンニングツリー未サポート)
	WAN カプセル化方式	IETF RFC1483/RFC2684 Ethernet/802.3PDU Bridge FCS なし(LLC カプセル化)
WWW ブラウザ設定		あり(かんたん設定/詳細設定)
システムログ機能		システムエラーログ、ファイアウォールエラーログ、回線エラーログ
ファームウェアバージョンアップ		可

## 用語解説

用語	解説
ADSL	Asymmetric Digital Subscriber Line の略。 上り方向と下り方向の通信速度が非対称な高速データ通信技術で、すでに一般家庭に普及している電話線を使ってインターネットへの高速で安価な常時接続環境を提供する。
bps	bit per second の略。 通信速度の基本単位。秒あたりに伝送されるビット数。
DNS (Domain Name System)	ホスト名とIPアドレスを対応させるシステム。
IP アドレス	インターネット接続などの TCP/IP を使ったネットワーク上で、コンピュータなどを識別するためのアドレス。32bit の値をもち、8bit ずつ 10 進法で表した数値をピリオドで区切って表現する。 (例: 192.168.0.10)
LAN	Local Area Network の略。 1 つの建物内などに接続された複数のパソコンやプリンタなどで構成されている小規模なコンピュータネットワークのことを指す。
PPP	Point to Point Protocol の略。 遠隔地にある 2 台のコンピュータを接続するためのプロトコル。アナログ回線や INS ネット 64 回線を使ってインターネット接続するために使われる。
PPPoE	PPP over Ethernet の略。 Ethernet 上で PPP の機能を使用するためのプロトコル。 Ethernet 上でダイヤルアップ接続と同じように利用者のユーザー名やパスワードのチェックを行う。最近では、ADSL などの常時接続型サービスで利用されることが増えている。
PPPoA	PPP over ATM の略。 ATM ネットワーク上で PPP の機能を使用するためのプロトコル。ATM ネットワーク上でダイヤルアップ接続と同じように利用者のユーザー名やパスワードのチェックを行う。最近では、ADSL などの常時接続型サービスで利用されることが増えている。

## 索引

100BASE-TX.....	15, 20	初期化.....	59
10BASE-T.....	15, 20	初期状態.....	37
ADSL.....	15	スタートガイド.....	17
ADSL回線.....	34, 35	スタンド.....	17, 21
ADSL回線コネクタ.....	19	スプリッタ.....	34
ADSL回線表示ランプ.....	18	セーブ.....	47
CD-ROM.....	17	設定.....	36, 45
DHCPサーバ.....	23	通信状態表示ランプ.....	18
DNSサーバ.....	39	電源スイッチ.....	19
Ethernetケーブル.....	17, 30	電源ランプ.....	18
Ethernetポート.....	19, 20	パスワード.....	37, 38, 41, 46
Ethernetポート状態表示ランプ.....	19	日付時刻.....	49
FG端子.....	19	フィルタリング.....	54
IPアドレス.....	31, 32, 33, 37	ブリッジ.....	56, 57
IPマスカレード.....	51, 56	ブロードバンドルータ.....	15
LINEランプ.....	34, 35	ヘルプ画面.....	44, 46
Mac OS.....	27, 28, 33	ポートマッピング.....	16, 51
Webブラウザ.....	16, 20, 36, 37, 44	ポート無変換機能.....	16
Windows® 2000.....	25, 32	ポート無変換.....	51
Windows® 95.....	23, 31	保証書.....	17
Windows® 98.....	23, 31	メイン画面.....	44, 45
Windows® Me.....	23, 31	メニュー画面.....	44
Windows® XP.....	26, 32	戻る.....	45
イニシャルスイッチ.....	19	ユーザ名.....	37
インターネット.....	13, 42	リブート.....	48
かんたん設定.....	16	ルータ.....	56
クリア.....	45	ログイン名.....	38
詳細設定.....	45		



# 確認シート

## ADSL サービス お客様宅内環境確認シート

1/3

■お客様情報	
●お客様氏名	●ADSL 認証 ID @
●ADSL 受付番号(わかる方はご記入ください)	
●ご契約プロバイダ名	●回線種別 タイプ 1・タイプ 2
■他 ADSL 接続事業者への契約状況(以前に申し込みをされた場合も含めてご記入ください)	
1.無し      2.有り(ADSL 事業者名:                      契約時期:      年      月頃)	
■パソコン環境	
●コンピュータ環境 1.メーカー製    メーカー名(                      )型番(                      )      2.自作機	
ご利用OS 1.Windows® XP      2.Windows® 2000      3.Windows® Me      4.Windows® 98SE (Second Edition) 5.Windows® 98      6.Windows® 95      7.MacOS (Ver.                      )      8.その他	
インターネット関連ソフトウェア(利用しているものに○をつけてください) a.ウイルスバスター2001 b.その他のウイルス対策・ファイヤーウォールソフト(製品名:                      ) c.インターネット表示高速化ソフト(製品名:                      )	
周辺機器の有無 1.無し                      2.有り(機器名等:                      )	
■LAN 環境	
●ご利用の LAN アダプター名	●ハブを利用し複数台の PC を接続していますか? 1.1台のみ                      2.複数台を接続(                      )台
●ハブ、ブロードバンド(BR)、無線 LAN の使用 1.無し                      2.有り    種類:(ハブ・BR・無線 LAN)    製品名(                      )	

■ご自宅・周辺環境		
●住居形態 1.一軒家( )階建      2.集合住宅(アパート・マンション・公団住宅)( )階		
●周辺環境(ご自宅のお近くにある該当するものすべてに○をつけてください) 1.鉄道      2.高速・高架道路      3.大きな河川・湖      4.高圧送電線 5.電波塔・アンテナ      6.放送局      7.工場      8.空港 9.自衛隊・米軍基地      10.その他( )		
●宅内環境(ADSL モデム設置周辺の電源を利用している状況を確認してください)		
a.モデムの1m以内にノイズ源がある(冷蔵庫、電子レンジ、TV、ステレオなど)	はい・いいえ	
b.モデムをPCの上に乗せている	はい・いいえ	
c.モデムの電源をタコ足配線ですべての	はい・いいえ	
d.モデムの周囲に電源タップがある	はい・いいえ	
e.その他		
■電話回線状況		
モジュラージャック個数 (電話機のさしこみ口) ( )個  ※複数ある場合、すべてのモジュラージャックで接続確認してください。他のモジュラージャックに通信機器等は接続しないでください。	PBX交換器 (ホームテレフォン、ビジネスフォン等)  無し・有り	●FAX専用機  無し・有り
電話回線を併用するサービスの有無(以下の中で、現在宅内にあるもの全てに○をおつけください) 1.テレフォンアダプタ(KDDI、日本テレコムなど)      2.ドアフォン(インターフォンと電話機が共有) 3.ホームセキュリティ(セコム、SOKなど)      4.ガス警報機・検針器 5.火災報知器      6.CATV、CS放送(SkyPerfectTVなど) 7.その他( )		
●宅内配線図		
ご自宅内の配線の長さをご記入ください。(単位メートル[m]) ※タイプ2をご利用のお客様は、「a.」の欄にモジュラージャックからADSLモデムまでの距離を記載ください。「b.」「d.」の欄は未記入で結構です。		
<p>モジュラージャック      スプリッター ※実際にお送りするスプリッターとは形状が異なる場合があります。</p> <p>ADSLモデム      パソコン</p> <p>a.( )m      b.( )m      c.( )m</p> <p>※タイプ2の場合はADSLモデムまでの距離      ※タイプ1のみ</p> <p>d.( )m      ※タイプ1のみ</p> <p>電話機</p>		

※お手数ですが、ADSL 接続サービス状況確認シートにもご記入をよろしくお願いいたします。

## ADSL 接続サービス状況確認シート

ご契約先プロバイダ様へお問い合わせいただく前に、ご記入ください。

3/3

■ADSL モデムランプの点灯／点滅状況	
LINE	点灯・遅い点滅・速い点滅
PPP	点灯・遅い点滅・速い点滅・消灯
LAN	点灯・消灯
DATA	点灯・消灯
POWER	点灯・消灯
ランプの機能説明	ADSL モデムランプの機能の詳細については、スタートガイドを参照してください。
	LINE(緑) 点灯:ADSL 回線のリンクが確立しています。 遅い点滅:ADSL 回線の信号検出待ちです(0.4 秒間隔)。 速い点滅:ADSL 回線がトレーニング中です(0.2 秒間隔)。
	PPP(緑) 点灯:PPP リンクが確立しています。*1 遅い点滅:PPP の認証が失敗しました(1秒間隔)。 速い点滅:PPP のリンクネゴシエーション中です(0.2 秒間隔)。 消灯:PPP のリンクが確立していません。
	LAN(緑) 点灯:Ethernet ポートのリンクが確立しています。 消灯:Ethernet ポートのリンクが確立していません。
	DATA(緑) 点滅:Ethernet ポートでデータの送受信をしています。 消灯:Ethernet ポートでデータの送受信をしていません。
	POWER(緑) 点灯:電源が投入されています。 消灯:電源が切れています。
*1 起動時、セルフテストが実行されている間、10~20 秒程度点灯します。	
■その他(ハブ、無線 LAN 等で複数台を接続している方のみお答えください)	
●ハブなどを取り除き、1台のみで接続して状況は改善しましたか？	はい・いいえ・行っていない ↳ LAN 側複数台接続はサポート外になる場合がございます。
その他、何かございましたらご記入願います(お困りになっていること等)。	
ADSL サービスはベストフォート型(通信品質が保証できない)のサービスです。様々な要因で十分な速度がご提供できないこともございます。あらかじめ、ご了承ください。	

※ご協力ありがとうございました。

**お願い**

- パソコンの設置や操作方法などについてのお問い合わせは、各パソコンのサポートセンターなどへお願いいたします
- ADSLなどの回線接続の条件などについてのお問い合わせは、各通信事業者またはプロバイダへお願いいたします。

この取扱説明書は、エコマーク認定の再生紙を使用しています。  
**NECアクセステクニカ株式会社**

ND -22951(J)  
第4版  
2002年5月